

# 日本の世界遺産

世界遺産として登録されている自然遺産・文化遺産のなかから、歴史に関係の深い建造物や遺構の写真を示しています。

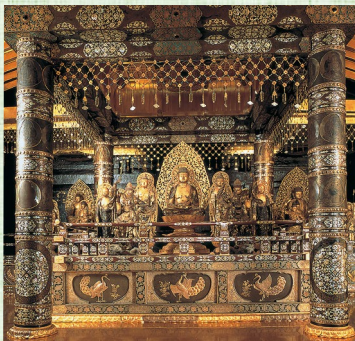


※1 8県にまたがる23の産業遺産群で構成されている。

※2 日本のほか、フランスなど計7か国の17作品で構成されている。



▲ 法隆寺地域の仏教建造物群 (法隆寺)



▲ 平泉の文化遺産 (中尊寺金色堂)



▲ 古都奈良の文化財 (薬師寺)



▲ 厳島神社

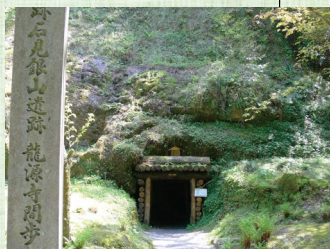


▲ 古都京都の文化財 (慈照寺[銀閣寺])

時代	古墳					飛鳥	奈良	平安					鎌倉	南北朝	室町	戦国	江戸			明治	昭和	平成
世紀	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	



▲ 琉球王国のグスク及び関連遺産群 (首里城)



▲ 石見銀山とその文化的景観



▲ 富岡製糸場と絹産業遺産群 (富岡製糸場東蔵倉庫)

▼ 姫路城

▼ 日光の社寺 (日光東照宮)

▼ 原爆ドーム





# I 東アジアと日本の文明化

## 縄文時代

猿から人間への進化は700万年ほど前のアフリカにさかのぼる。彼らは、その生誕地から各地に広がっていった。現生人類の直接の祖先（新人）がアフリカを出て世界に広がっていったのは約5万年前で、その痕跡は、日本列島でも約3、4万年前にはじまった後期旧石器時代に確認される。

日本で新石器時代（縄文時代）が始まるのは、約1万3000年前に氷河期が終わったころのことである。縄文人は、シベリアと東南アジア方面からの文化を受けついで、採集・狩猟・漁労の生活を成熟させた。彼らのつくった土器を縄文土器という。土器がこれだけ古くからつくられたのは東アジアの特徴である。人びとはこの列島の豊かな山野河海のなかで原始的な神の存在を考え、土器・木器・石器などの道具を改良して、後期には補助的なものではあるが、穀物の栽培もはじめていた。



▲ 竪穴住居の再現（千葉県、松戸市立博物館制作）

## 弥生時代

中国に殷が成立するなどの文明の発展の影響をうけて、紀元前1500年ころ、朝鮮半島で水稲耕作がはじまった。そして、紀元前1000年以降、気候の寒冷化のなかで、温暖な気候と水田適地を求めた朝鮮半島の人びとが北九州に移住してきた。彼らが用いた無文土器は、日本の弥生土器に酷似している。水稲耕作と金属器の使用を特色とする弥生文化は、灌漑農法の技術とともに列島各地に広まっていった。

弥生文化が拡大するなかであっても、山野河海の世界に密着した縄文文化は各地に残り、社会の平等な性格も長く続いた。しかし、紀元前100年ころになると部族の族長の権限が強くなり、従属した地位におかれる村むらや奴隷が発生した。中国の史書に記述された、この時代の「倭」にあった「百余国」とは、この族長の勢力圏をいう。中国に朝貢使を派遣した倭の奴国王（57年）、倭国王（107年）などは、そのなか



▶ 縄文時代中期の火炎土器 新潟県出土（十日町市博物館蔵）

▶ 弥生土器 弥生時代後期のつば。（東京国立博物館蔵）



▲ 吉野ヶ里遺跡 周囲に濠をめぐらした大規模な環濠集落。（佐賀県）



▶ 大山古墳 仁徳天皇陵と伝えられる。墳丘長486m。（大阪府堺市）

でも有力な北九州の族長たちである。

弥生時代には、縄文時代とは違って戦争がおきたが、とくにこの時期にはげしかったことは、中国の史書に記されており、瀬戸内海周辺には軍事的性格をもつ高地性集落が分布している。戦闘の焦点となったのは、大陸・朝鮮半島との政治・貿易の関係を誰がにぎるかという点にあった。その背景には、中国では、黄巾の乱によって漢の没落が決定的になり、朝鮮半島も戦乱の時代に突入したことがあった。

こうしたなかで、200年ころ、列島の国々には連合して、邪馬台国の女王・卑弥呼を「共立」した。卑弥呼は中国三国時代の魏から「親魏倭王」の称号をうけ、部族連合の女王として君臨した。邪馬台国には、大人一下戸一奴婢という身分差があり、対外関係を統括する役所もあった。邪馬台国が近畿・九州のどちらにあったかについての論争は、まだ決着していないが、この前後に、政治の中心が九州から近畿地方に移動したことは確実である。奴国・伊都国などの北九州の国々には、従来、弥生文化の故地である朝鮮半島、とくにその南部との強い関係を維持し、鉄器や先進知識の輸入を主導していた。その権限をヤマト（奈良県）の族長がにぎったのである。

## 古墳時代

奈良県南東部の箸墓古墳は、3世紀に築造された最初の前方後円墳である。邪馬台国近畿説は、この古墳を卑弥呼の墓とすることが多い。これ以降6世紀ころまでの前方後円墳が築造された時代を古墳時代という。「辛亥年」（471年）の年号が記された、稲荷山古墳出土鉄剣銘に登場する「オホビコ」は、大王崇神（「ハツクニシラス」）の叔父とされるが、崇神は、この箸墓古墳とほぼ同時代に実在が推定される人物である。

古墳時代は、吉備（岡山）、肥（九州）など、全国各地に地域国家が存在した時代であるが、なかでもヤマトが強い位置を占めていた。彼らは連合して中国や朝鮮と外交や貿易をおこない、あるときには、朝鮮南部の伽耶諸国と連携して、当時、高句麗・百済・新羅の3国が並び立っていた朝鮮半島に出兵した。中国の歴史書には、5世紀ころの5人の倭王の名前が伝えられている。ヤマトの王権は、戦乱を避けて渡来してきた朝鮮南部の人びとを河内などの近畿地方に招き、彼らのもつ土木や鍛冶などの進んだ技術や文字文明によって、その権威を強めた。

前10000年	前8000年	前5000前後	前3300	前3100	前2700	紀元一世紀前後	五七	二二九	三三四世紀ころ	三七五	三九五	四〇四	四二二	四七一	四七六	四七八	四八五	四八八
メソポタミア文明	ギリシヤにポリスが成立	儒教の成立・仏教の成立	遠征開始	秦の始皇帝、中国を統一	ローマが帝政となる	倭の奴国王が後漢に使者をおくり、金印を授与される	倭の奴国王が後漢に使者をおくり、金印を授与される	邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使者をおくる	ゲルマン民族の大移動開始	ローマ帝国、東西に分裂する	麗と戦い、撤退	倭王讃、南朝の宋に朝貢、倭の五王の時代	西ローマ帝国が滅びる	倭王武が南朝の宋に使者をおくる	フランク王国の建国	北魏で均田制を実施	新羅	高句麗
エジプト文明	インダス文明	黄河流域（殷文化の原形）	秦の始皇帝、中国を統一	秦の始皇帝、中国を統一	ローマが帝政となる	倭の奴国王が後漢に使者をおくり、金印を授与される	倭の奴国王が後漢に使者をおくり、金印を授与される	邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使者をおくる	ゲルマン民族の大移動開始	ローマ帝国、東西に分裂する	麗と戦い、撤退	倭王讃、南朝の宋に朝貢、倭の五王の時代	西ローマ帝国が滅びる	倭王武が南朝の宋に使者をおくる	フランク王国の建国	北魏で均田制を実施	新羅	高句麗





## 1 日本の近代化とアイヌの人権

日本史では、おおむね19世紀なかばの江戸時代末期以降を近代、1945年のアジア太平洋戦争敗戦以降を現代と時代区分しています。この「日本史A」の教科書では、その近代・現代を中心に、日本とそれに関連する世界の歴史を学んでいきますが、その際、現代社会がかかえるさまざまな問題や課題には、この近代・現代史のなかで形成されてきたものが多いことを意識しておきましょう。

ここでは、近代史のなかで生み出された現代における課題の一例として「日本の近代化とアイヌの人権」を取りあげています。あわせて、近代・現代史を探究する際に有効な歴史資料にはどのようなものがあり、どこに保存されているのか、また、それらの資料を調べる方法や留意点についても学んでいきましょう。

### 時代区分とは

歴史学では、一般的に、社会のありようや政治や経済のしくみなどを指標として、原始・古代・中世・近世・近代・現代という大きな時代区分を設け、歴史の流れを理解することにつとめている。この時代区分は、おおむね世界共通に用いられる。また、日本では、奈良時代・江戸時代などと政権の所在地にもとづく区分、縄文時代や古墳時代、戦国時代といった文化や社会の特色をもとにする区分、明治時代というように年号をもとにする区分をあわせて使用している。このように時代区分にはさまざまなあらわし方があるが、いずれにしても、歴史をどのような視点で理解するかによってその使われ方も異なっているのである。

以下では、「日本の近代化とアイヌの人権」という研究テーマを設定した生徒たちが、先生に調査のためのヒントをもらっています。会話をたどりながら、調査方法や資料の活用方法を考えていきましょう。

**あかり**：わたしたちは北海道修学旅行の研究課題として「日本の近代化とアイヌの人権」というテーマを選びました。歴史的にみれば、古くからアイヌは北海道や東北地方北部で、独自の言語や文化をもってくらしてきた人びとですね。先生、調べるにあたって何か手がかりになるものはないですか。

**1** テーマが決まったら、教科書や資料集・地図帳など、身近なものを手がかりにして、調査をはじめましょう。

**先生**：1997（平成9）年に公布された「アイヌ文化振興法」はどうだろう。

### 史料 アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）

（目的）第一条 この法律は、アイヌの人々の誇りの源泉であるアイヌの伝統及びアイヌ文化（以下「アイヌの伝統等」という。）が置かれている状況にかんがみ、アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する国民に対する知識の普及及び啓発（以下「アイヌ文化の振興等」という。）を図るための施策を推進することにより、アイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の発展に寄与することを目的とする。

**大地**：第1条には、「アイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を図るために、アイヌ文化を発展させ、アイヌの伝統等に関する国民の知識を普及させ啓発するという法律制定の目的が記されていますね。

**あかり**：なぜ、このような法律が、平成の時代になってから制定されたのかしら。ちょっと不思議ね。そのことの意味も考えながら、アイヌの人びとの生活や文化の歴史を学ぶ必要があるわね。

**2** 近代や現代では新聞や書籍などが種類も多く豊富に発行されているので、まずこうした文字資料（史料）からテーマに関する記事を探してみましょう。これらは活字化されて刊行されているので、比較的読みやすい資料です。そのほかに図書館や郷土資料館などにも保管されている当時のままの公的・私的な文書や記録・日記なども貴重な資料です。こうした資料（史料）を利用するには、誰が、何のために、いつ、どこで書いたものか、などを確認する必要があります。

**先生**：まずこれを見てごらん。これは平沢屏山という絵師が、江戸時代後半から明治初期にかけてのアイヌの生活を描いた「アイヌ風俗十二月月屏風」の9月の場面だ。鉆を使ってサケ漁をしている老人と少年が描かれているよ。それからこの写真は明治初期に撮影されたアイヌの男性で、民族衣装を着ているね。

**大地**：老人の持つ長い鉆は珍しいし、絵や写真の服装も独特のデザインですね。

**先生**：そうだね、絵にある鉆はマレクといって先端に紐のついた鉄製のカギがはめこまれていて、獲物を突くと、カギが反転して獲物に刺さり棒から外れて獲物がぶら下がるしくみになっているんだ。

**あかり**：ふーん。すごい工夫ですね。生活様式にも独特な要素があるように感じますね。

**3** 文字で書かれた資料のほかに、絵画や写真、地図、映像などの視覚資料も重要な情報をあたえてくれます。最近ではインターネットで手軽にこうした情報を得ることもできますので、活用しましょう。その際、情報の質や発信者などに注意をはらい、正確な情報か、著作権を侵害していないか、などについての慎重な扱いが必要です。



サケ漁をおこなうアイヌの老人と少年（平沢屏山画「アイヌ風俗十二月月屏風」市立函館博物館蔵）



明治期の男性 アイヌの民族衣装を着ている。



# 第1編



アヘン戦争



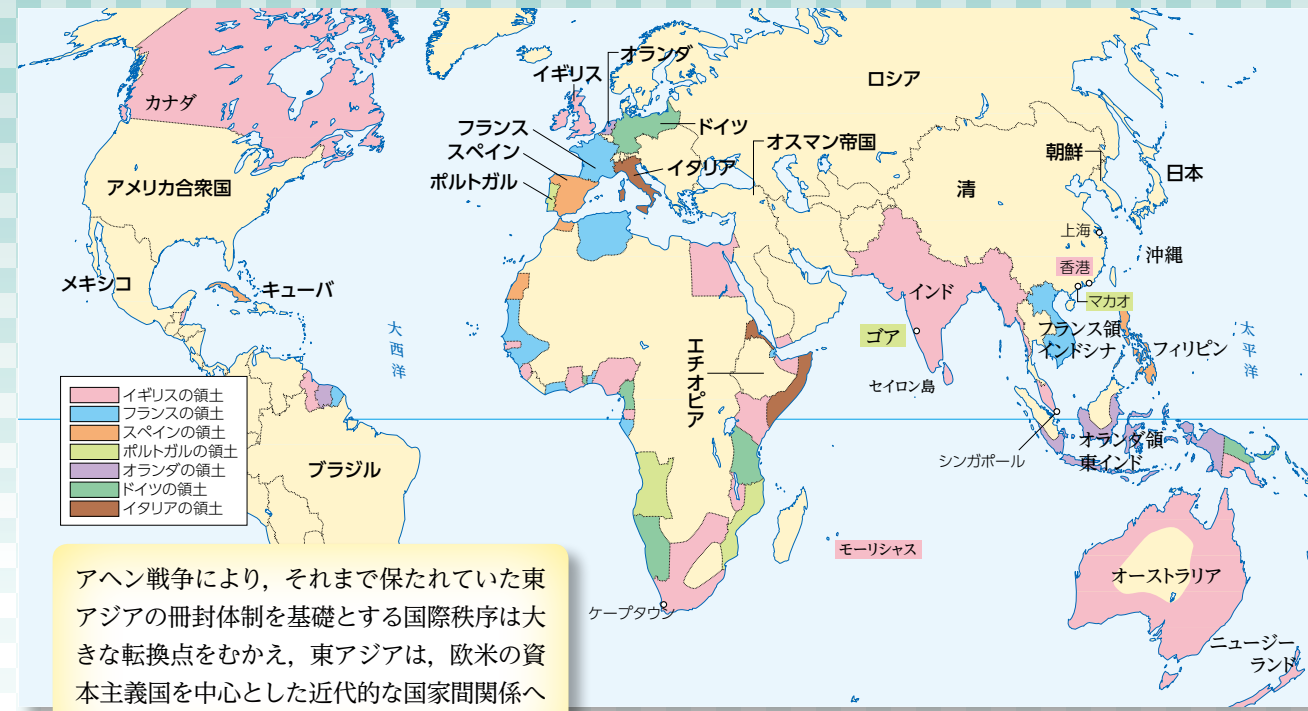
ドイツ帝国の成立



横浜に上陸したペリー一行



岩倉遣欧米使節団



アヘン戦争により、それまで保たれていた東アジアの冊封体制を基礎とする国際秩序は大きな転換点をむかえ、東アジアは、欧米の資本主義国を中心とした近代的な国家間関係へと強制的に編入させられていくことになった。

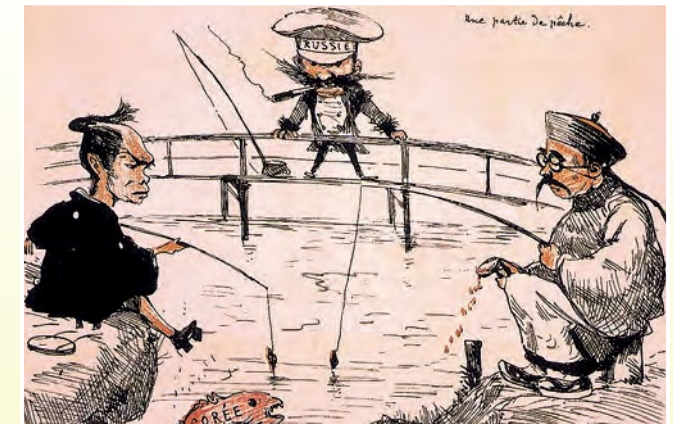
▲ 19世紀後半の世界のようす



北清事変に出兵した8か国連合軍



大日本帝国憲法発布式典



朝鮮をめぐる風刺画

岩倉遣欧米使節団派遣  
ドイツ帝国成立  
大政奉還  
民衆議院設立建白書

大日本帝国憲法発布

甲午農民戦争  
日清戦争

北清事変

血の日曜日事件  
日露戦争

韓国併合

近代の日本と世界

十八世紀後半になると、ヨーロッパの関心が東アジアへと向かった。とりわけ、産業革命の成果による大量生産を開始したイギリスや、シベリア開発を進めたロシアのうごきは、やがて日本を含む東アジア全体に大きな影響をあたえることになった。

天保の改革  
アヘン戦争

二月革命

クリミア戦争  
ペリーが来航

1840年

1850

1860

江戸時代

1870

1880

1890

1900

1910

明治時代





ペリー アメリカ東インド艦隊司令長官。

ペリーの横浜上陸 (横浜開港資料館蔵)

ペリーの要求に対して、幕府はどのように対応しただろうか。

### 1 ペリー来航と日米和親条約

#### オランダ国王の開国勧告

アヘン戦争の結果によって清国が欧米諸国の自由貿易体制に組みこまれると、アジアと欧米の関係は大きく変化した。1846 (弘化3) 年、アメリカは東インド艦隊司令長官ビッドルを送って、日本との貿易を求めたが、江戸幕府は相手にしなかった。

また、それまでヨーロッパ諸国で唯一日本と貿易関係を結んでいたオランダの国王は、この変化に対応するために、1844年、将軍あてに開国をすすめる国書を送ったが、幕府はこれも拒否した。アヘン戦争以来、オランダは以前よりくわしいヨーロッパ情勢を日本に報告しており、そのなかには、アメリカが新たな使節ペリーを送り出したという情報も含まれていたものの、幕府はこの情報に対して真剣に対応しなかった。

また、それまでヨーロッパ諸国で唯一日本と貿易関係を結んでいたオランダの国王は、この変化に対応するために、1844年、将軍あてに開国をすすめる国書を送ったが、幕府はこれも拒否した。アヘン戦争以来、オランダは以前よりくわしいヨーロッパ情勢を日本に報告しており、そのなかには、アメリカが新たな使節ペリーを送り出したという情報も含まれていたものの、幕府はこの情報に対して真剣に対応しなかった。

▶1 アヘン戦争で清国は大敗し、1842年に南京条約が締結された。この条約で、清国は上海ほか5港の開港や香港のイギリスへの割譲などを約束した。

▶2 大名の一部には開国反対や積極開国の意見があったものの、大部分は開国もやむなしとする消極的な意見だった。なお、これまで外交は幕府の専権事項であったが、この慣例を破った行為は、日本国中で政治的議論をさかんにさせ、有力大名の幕政への介入を進めることとなった。

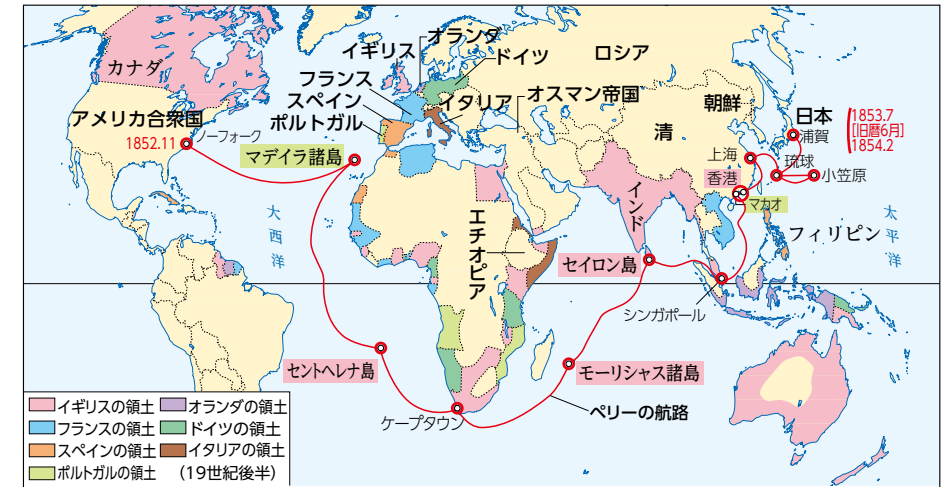
#### ペリー来航

1853 (嘉永6) 年6月、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは、2隻の蒸気軍艦を含む4隻の黒船を率いて江戸湾入口の浦賀に来航し、開国を求めるアメリカ大統領の国書を受領するよう幕府に要求した。ペリー艦隊が湾内に侵入して品川沖で測量をはじめると、幕府は要求に従うことを決断した。ペリーは上陸して浦賀奉行に国書を渡し、翌年春の回答を幕府に求めて、10日ほどの日本滞在を終えた。また、1か月遅れで長崎に来航

また、それまでヨーロッパ諸国で唯一日本と貿易関係を結んでいたオランダの国王は、この変化に対応するために、1844年、将軍あてに開国をすすめる国書を送ったが、幕府はこれも拒否した。アヘン戦争以来、オランダは以前よりくわしいヨーロッパ情勢を日本に報告しており、そのなかには、アメリカが新たな使節ペリーを送り出したという情報も含まれていたものの、幕府はこの情報に対して真剣に対応しなかった。



ペリーの肖像 日本人が描いたもの。



ペリーの航路 ペリーは日本への寄港ルートを、太平洋経由ではなくアフリカまわりにして、欧米諸国にも遠征をアピールした。アメリカ大統領はアメリカがアジア・アフリカに植民地をもっていないことを強調した。

したロシア使節プチャーチンも、国境の画定や貿易を求める国書を提出した。

老中阿部正弘は、アメリカ大統領の国書を公開して、幕臣や譜代大名以外の諸大名にも広く意見を求め、国難を乗り切ろうとした。

#### 日米和親条約

1854年1月、ペリーは7隻の軍艦を率いてふたたび来日した。幕府はアメリカとの貿易関係を拒否したが、ペリーは日本に開港地さえできれば満足したので、(1) 下田・箱館の開港と薪水・食糧・石炭などの供給、(2) 漂流民の救助、(3) アメリカに対する一方的な最恵国待遇の供与、(4) 下田への領事駐在などを取り決めた日米和親条約 (神奈川条約) が結ばれた。このあと、幕府はイギリス・ロシア・オランダともほぼ同様の条約を結び、開国への道を歩きはじめた。

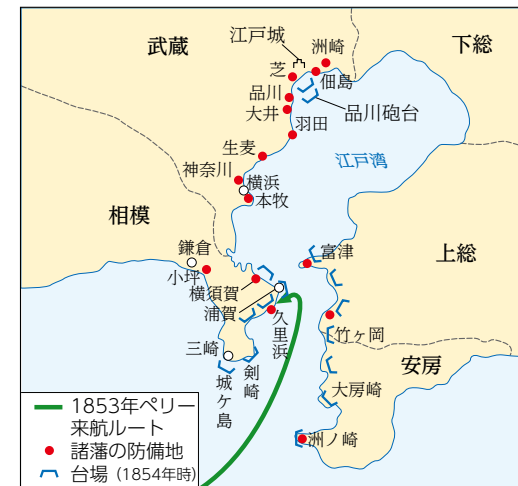
#### 安政の改革

老中阿部正弘は、ペリー来航を機にさらに海防政策をおし進めた。

江戸湾に台場の建設を進める一方、大船建造の禁を解いて諸藩に海防の強化を命じた。また、江戸に講武所、蕃書調所、長崎に海軍伝習所を設置して、すぐれた外国の軍事技術を研究しようとした。積極的な人材登用もおこない、外国使節との折衝など重要な職務には身分にこだわらず優秀な人材を配置した。

▶3 日本がほかの国にあたえた有利な条件を、自動的にアメリカにも認めることが最恵国待遇であり、日本のみがこの義務を負うことになっていた。

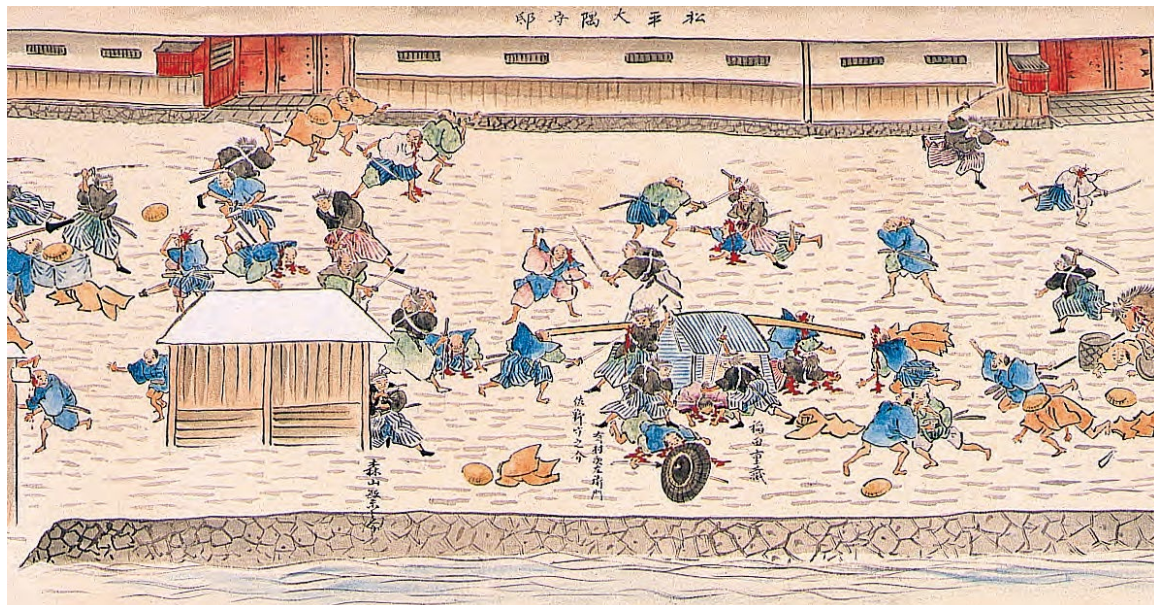
▶4 1854 (安政元) 年にロシア使節プチャーチンと締結した日露和親条約 (日露通好条約) では、択捉島とウルップ島のあいだに国境を設け、樺太 (サハリン) には国境線を画定せず、従来どおりに日露の雑居地とした。



江戸湾の海防

あなたならアメリカとどのような条約を結ぶか考えてみよう。





桜田門外の変 水戸藩を脱藩した浪士の一部が、江戸城に向かう途中の籠のつた井伊大老を暗殺した。(茨城県立図書館蔵)

開港後の日本ではどのような政治がおこなわれたのだろうか。

## 2 通商条約の締結と安政の大獄

### 将軍継嗣問題

ペリー来航直後に13代将軍の座についた徳川家定(1824~58)には、継嗣(あとつぎ)がいなかったため養子をとる必要があった。外様である薩摩藩主の島津斉彬や土佐藩主の山内豊信などは、従来通り譜代中心で政治をおこなおうとする幕府に改革を求めて、御三家の前水戸藩主徳川斉昭の次子である一橋家の徳川慶喜を継嗣におして、さまざまな活動をおこした(一橋派)。彼らは一橋派の親藩の越前藩主松平慶永(春嶽)を大老にし、慶喜を継嗣に確定しようとしたが、1858(安政5)年4月、南紀派の中心である井伊直弼が大老に就任し、徳川慶福が継嗣にむかえられた(のちの14代将軍家茂)。

- ▶1 13代将軍家定の継嗣問題において、徳川慶喜をおす雄藩のグループ。
- ▶2 御三家の紀伊藩主徳川慶福を将軍継嗣におす、譜代を中心とする勢力。

### 日米修好通商条約

日米和親条約にもとづき、1856年、下田に着任したアメリカ総領事ハリスは、アロー戦争におけるイギリス・フランスの清国侵略を口実に、老中堀田正睦らに通商条約の早期締結を求めた。すでにオランダ・ロシアに貿易を許可した幕府は、ハリスとの交渉を進めた。堀田は条約締結に反対する勢力をおさえるため、孝明天皇の許可(勅許)を得ようとしたが、失敗した。1858年6月、大老井伊直弼のもとで日米修好通商条約が調印され、(1)神奈川・長崎・箱館・新潟・兵庫の開港と自由貿易、(2)開港場への外国人の居留、(3)江戸・大坂の開市、(4)関税率の協定、(5)日本における領事裁判権(治外法権)、(6)外交使節の首都駐在など



井伊直弼 彦根藩主から大老職についた。(東京都、豪徳寺蔵)



開港場 左の地図は日米和親条約・日米修好通商条約で開港した場所を示す。下田は日米修好通商条約で閉鎖された。右は、イギリス・ロンドンで発行された週刊新聞に紹介された開港当時の神戸港のようす(1868年3月の記事)。



威臨丸 アメリカに派遣された幕府の使節が乗った船に随行した。艦長は勝海舟で、福沢諭吉(→p.52)も乗り組んでいた。



勝海舟 江戸に生まれる。通称は麟太郎。海舟は号。蘭学・西洋兵学を学び、長崎海軍伝習所で航海術を習得し、幕末期の幕府海軍創設に尽力した。戊辰戦争に際して、西郷隆盛とともに江戸無血開城に心をくだいた。

が定められた。しかし勅許を得ずに調印した井伊大老に対する反発が強まった。なお、この条約批准書の交換のため、1860(万延元)年に遣米使節が派遣され、勝海舟の乗る威臨丸も同行した。

この修好通商条約は、日本には関税自主権がなく、アメリカには領事裁判権を容認したもので、さきの和親条約の最恵国待遇とともに長く日本の外交上の問題点となった。こののち、オランダ・ロシア・イギリス・フランスとのあいだにも同様の修好通商条約が結ばれた(安政の五か国条約)。

### 安政の大獄

徳川慶喜を将軍継嗣におす一橋派は、朝廷への工作もおこなったが、井伊大老は、それにかかわった大名や藩士、公卿(上層の公家)などを前例のないほど大規模に処罰した(安政の大獄)。一橋派の大名の多くは開国容認派であったが、無勅許の条約調印を批判して井伊大老に処罰されたため、尊王攘夷への期待が高まった。1860年3月、井伊大老は江戸城の桜田門外で尊王攘夷派の水戸藩の浪士たちに暗殺された(桜田門外の変)。

▶3 条約では東海道の宿場町である神奈川を開港することになっていたが、幕府は外国人を管理しやすく防衛もしやすい横浜村に新たに港や町を建設して、外国人をそこに誘導した。神奈川・長崎・箱館は条約締結1年後から開港し、順次、兵庫・新潟も開港した。江戸・大坂の開市もおこなわれるはずだったが、攘夷運動の影響で延期され、実際には1868年にまでのびた。

▶4 処罰者は100名以上。橋本左内・吉田松陰・頼三郎らが処刑された。

よしだしょういん 吉田松陰(1830~59) 長州藩士の子として萩郊外に生まれた。江戸に出て信州松代藩の佐久間象山(1811~64)に学び、1854年、ペリーが再来航したときにアメリカへの密航をくわだてて失敗、萩の牢獄につながれた。出獄後、実家杉家の松下村塾で、高杉晋作・伊藤博文・山県有朋らを教育したが、安政の大獄で処刑された。



◀▶ 吉田松陰(左)と松下村塾(右) (山口県萩市、松陰神社蔵)

幕府はどうして条約を締結しようとしたのか、またなぜ反対した人がいたのか、考えてみよう。



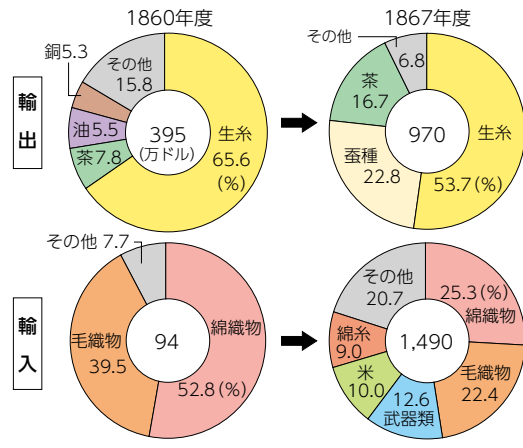


当時の横浜のにぎわい 左手前の建物は三井呉服店の出店。中央の荷車は船積み用にこん包された生糸を運んでいる。〔「神名川横浜新開港図」1860年、横浜開港資料館蔵〕

貿易の開始は、日本の政治や経済にどのような影響をおよぼしたのだろうか。

**\*公武合体**  
朝廷（公）と幕府および諸藩（武）を一体化して、幕藩体制を再編強化しようとするうごき。

幕末の横浜における輸出品目 当初は輸出額が輸入額を上まわっていたが、1866年に輸入関税が引き下げられたため逆転した。



### 3 貿易の影響と尊王攘夷

**貿易の開始と経済の混乱** 欧米との貿易は、1859（安政6）年6月から横浜を中心に長崎・箱館ではじまった。輸出品は生糸・茶・蚕卵紙（蚕種）などがおもで、輸入品には綿織物・毛織物・武器などの加工品が多い。国別ではイギリスが過半数を占めた。

生糸の輸出量の増加は、製糸業のマニュファクチュア（工場制手工業）の発達を促したが、国内での品不足を引き起こした。また在郷商人が直接横浜に出荷するため、これまでの江戸の間屋商人を仲立ちとした流通統制がくずれ、品不足はより深刻化した。このため、幕府は1860（万延元）年に**五品江戸廻送令**を出し、雑穀・水油・蠟・呉服・生糸の生活用品を、江戸の間屋をとおして輸出するよう命じたが、

あまり効果はなかった。国内の品不足、金貨の国外流出、さらに貨幣悪铸による経済の混乱、幕府・諸藩の米の買い占めは、物価の高騰を招き、庶民や下級武士の生活を圧迫した。このころ各地で百姓一揆や打ちこわしがしきりにおきていたが、下級武士のなかにはその原因を開港に求め、幕府への不満をあらわすとともに、商人や外国人への襲撃事件をおこす者もあらわれ、攘夷論が強まった。



物価騰貴を風刺する錦絵（国文学研究資料館蔵）

### 薩摩藩のうごき

桜田門外の変のあと、老中安藤正と久世広周は幕府の強硬な態度を改めて、安政の大獄における処罰者を復権させた。また公武合体の考えから、孝明天皇の妹和宮を将軍家茂の妻にむかえ、朝廷と結ぶことによって難局を乗り切ろうとした。しかし安藤は尊王攘夷派の反感を買うことになり、1862（文久2）年1月に坂下門外で襲撃され（坂下門外の変）、失脚した。

- 島津斉彬の死後、薩摩藩の実権をにぎった島津久光は、斉彬の遺志を引きついで京都へ上った。久光は勅使をともなって江戸に下り、徳川慶喜を**将軍後見職**に、松平慶永を**政事総裁職**に就任させた。その結果、京都守護職の設置（会津藩主松平容保が就任）や大名の参勤交代の緩和など、公武合体に向けて幕政は大幅に改革された（**文久の改革**）。
- 久光一行はその帰路、1862年8月、武蔵国生麦村（いまの横浜市鶴見区）で、行列に遭遇したイギリス人一行を藩士が殺傷するという事件（**生麦事件**）をおこし、のちの薩英戦争の原因をつくった。

### 長州藩のうごき

長州藩は開国路線をとって、当初、幕府と朝廷を結ぶためにうごいていたが、藩内の実権が攘夷派へ移り、薩摩藩の島津久光のうごきにも対抗するように、過激な尊王攘夷派へと舵を切った。吉田松陰の影響をうけた桂小五郎（のちの木戸孝允）・高杉晋作などのもと、長州藩は朝廷をうごかして幕府に攘夷を迫った。将軍家茂はこのうごきを封じようと京都に上ったが、逆に1863年5月10日を期して攘夷決行することを朝廷に約束させられた。その当日以降、長州藩は、下関沖を通る欧米の外国艦船に砲撃を加えた。



**蚕卵紙** 蚕の成虫である蛾が卵（蚕種）を産みつけた専用の厚紙のこと。紙のまま養蚕農家に販売される。（宝暦・文久時代のもの。岡谷蚕糸博物館蔵）



生麦事件の現場（1863年ベアト撮影、ボードインコレクション、長崎大学附属図書館蔵）



島津久光 島津斉彬の異母弟。薩摩藩主島津忠義（1840～97）の父として、実権をにぎっていた。

- 金銀交換比率が日本は1対5、外国では1対15であったため、外国人は大量の銀貨を小判などの金貨と交換し、国外へと持ち出した。このため、幕府は万延小判など質の低い金貨を大量に発行して対応したが、はげしいインフレーションを招くこととなった。
- 天皇の使者。天皇の代理として処遇された。このときの勅使は大原重徳（1801～79）。

？ 薩摩藩や長州藩の人びとが何をめざしていたのか考えてみよう。





年	長州藩	薩摩藩	幕府
1858			9月 安政の大獄
60			3月 桜田門外の変
62	(尊王攘夷運動の高潮)	8月 生麦事件	1月 坂下門外の変 文久の改革
63	5月 外国艦船砲撃	7月 薩英戦争 8月 八月十八日の政変	3月 家茂上洛 4月 攘夷決行を約束
64	6月 池田屋事件 7月 禁門の変 8月 四国艦隊下関砲撃事件		7月 第1次長州征討
65			
66		1月 薩長同盟	6月 第2次長州征討 12月 慶喜、将軍に就任
67		10月 討幕の密勅	10月 大政奉還

幕末のうごき 幕府と薩摩・長州の関係を中心にしたもの。

四国連合艦隊による下関砲台の占拠 四国連合艦隊に敗れた長州藩は、このうちイギリスと接近し、開国倒幕をめざすことになった。

倒幕に向けて、薩長両藩はどのようにうごいたのだろうか。

## 4 倒幕運動の展開

### 長州藩の後退

過激な攘夷論を嫌った孝明天皇の意向をうけ、会津藩や薩摩藩などの公武合体派は、1863(文久3)年8月18日、武力を背景に尊王攘夷派の長州藩やこれと結ぶ三條美美らの公家を京都から追放した(八月十八日の政変)。長州藩は挽回をねらったが、京都守護職松平容保の配下であった新選組の活躍もあり、計画が事前に察知されて失敗した(池田屋事件)。

これに憤激した攘夷派は、長州藩士を中心に1864(元治元)年7月に京都に攻め上り、会津・薩摩などの藩兵と御所付近で戦ったが敗れた(禁門の変[蛤御門の変])。この事件により長州は朝敵(天皇の敵)とされ、勢力回復をはかる幕府は長州征討の出兵を全国の大名に命じた(第1次長州征討)。長州藩内では、同年8月の四国艦隊下関砲撃事件に完敗して攘夷派が勢力を失っており、幕府に抵抗せずに降伏した。また、薩摩藩を含む出兵した諸藩も、戦闘を積極的にのぞんではいなかった。

### 薩長連合

八月十八日の政変によって攘夷派を京都から追い出した薩摩藩ら公武合体派の諸藩は、幕府と協力して朝廷を開国にうごかすはずだった。しかし、幕府が孝明天皇の固執する攘夷を受け入れたため、西郷隆盛や大久保利通らが力をにぎる薩摩藩と、幕府とのあいだにはふたたび距離ができた。

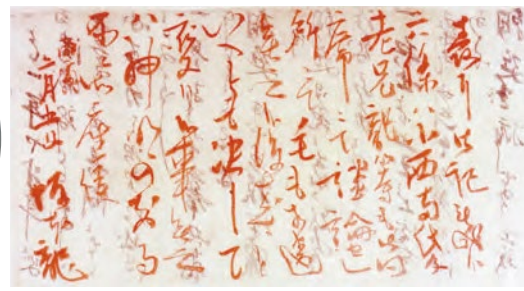
また、長州藩では、幕府への恭順に不満をもつ高杉晋作らが挙兵し、

▶1 1863年、高杉晋作が創設した軍隊。志願制で武士のほかに百姓や町人も混在した。500名の定員を上まわる志願者があらわれたため、別に多くの諸隊が創設された。

▶2 1863年5月10日の長州藩による攘夷実行によって、アメリカ・フランス・オランダの船が被害を受けた。翌年、イギリス公使オールコックの発案により、イギリスを加えた4か国の艦船で長州藩の下関を砲撃した。長州藩に課された300万ドルの賠償金は、のちに明治政府の大きな負担となった。

### 坂本竜馬(1835~67)

土佐(高知県)に生まれる。江戸に出て剣を学び、勝海舟と出会う。開明的な思想をいづく。亀山社中(のちに海援隊)という貿易会社を長崎につくり、長州藩や薩摩藩に洋式武器などの輸入を世話した。このことが、薩長同盟を成功させた要因の一つともなった。大政奉還後の新国家の構想として、憲法の制定や議会の開設などを想定した「船中八策」を後藤象二郎とともに策定したといわれる。



木戸孝允の書状への坂本竜馬の裏書 木戸孝允が薩長同盟の内容を6項目にまとめて確認を求めたのに対し、坂本竜馬が表の内容に相違ないと、裏に朱書で返答したもの。(1866年、宮内庁蔵)

奇兵隊などの諸隊の協力を得て、木戸孝允・高杉らがふたたび藩の実権をにぎり、幕府に抵抗する態度をとった。そこで幕府は第2次長州征討を企てたが、土佐藩出身の坂本竜馬らの仲介で長州藩と急速に接近していた薩摩藩は、1866(慶応2)年1月、京都で薩長連合(同盟)を結び、第2次長州征討への出兵を拒否した。同年6月、実際に戦闘が開始されると、近代的装備をもち、ゲリラ戦法をしかける長州藩に対して、幕府側は各所で敗れた。7月、指揮をとる将軍家茂が大坂城で病没したのを機に、幕府は軍を引きあげてしまった。

この戦いで米の買い占めなどにより諸物価が高騰したため、各地で打ちこわしや世直し一揆があいついだ。1867年7月以降には「ええじゃないか」と連呼しながら踊る社会現象も京都を中心に各地でおこった。

### 薩摩・長州両藩と諸外国の結びつき

幕府は諸外国との戦争を徹底的に避けたが、薩摩・長州両藩は諸外国と実際に戦火を交えた。

1863年には生麦事件の処理をめぐる、イギリス艦隊が鹿児島を攻撃した(薩英戦争)。また同年、長州藩が攘夷実行として外国艦船を砲撃すると、翌64年8月、イギリスの発案によって四国連合艦隊が下関を砲撃した(四国艦隊下関砲撃事件)。これらの戦いに敗れた薩長両藩は、欧米の武器の優位を知り、軍事技術の移入を優先して考えるようになった。

幕府は万延遣米使節のあとにも諸外国へ使節を派遣したり、留学生を送ったりしていたが、薩摩藩や長州藩のなかにもこれらに同行する者がおり、その後は密航というかたちで諸外国へ留学生を派遣したりもした。また、薩摩藩はイギリスへ使節を派遣したり、パリ万国博覧会に参加したりするなど、独自の行動をとった。



「ええじゃないか」「ええじゃないか」とかけ声をかけてはやしながら踊り歩く民衆運動。空から舞い降りたという、伊勢神宮などのお札、仏像、貨幣などによってさらにはげさを増した。(国文学研究資料館蔵)



スフィンクスの前の日本人武士 1863年の幕府使節団。帰国途中に撮影したもの。27人の武士がいる。

倒幕へのうごきと諸外国との関係を考えてみよう。





国境の画定と樺太・千島の交換 (1875年ころ)

屯田兵のようす (高村真夫画「北海道巡幸屯田兵御覽」明治神宮聖徳記念絵画館蔵)

江戸時代と比較して、領土や国境がどのように変化したか、確認しよう。

## 10 国境の画定と北海道の開拓

### 台湾出兵と琉球処分

江戸時代以来、薩摩藩の支配下にあった琉球王国は、清国への従属も続けていた。日本政府は

1872 (明治5) 年に琉球藩を設置し、国王の尚泰を藩王として、日本の領土の一部であることを主張したが、清国は認めなかった。明治六年の政変によって征韓論が挫折すると、不平士族を中心に国内の不満が高まった。そのため、政府は、琉球宮古の島民が清国の台湾に漂着して現地人に殺害された1871年の事件を口実に、1874年、台湾出兵をおこなった。日清間の戦争をのぞまないイギリスの仲介によって、清国に日本の出兵を正当な行動と認めさせて決着した。

その後も清国は琉球を日本領と認めなかったが、日本政府は1879年、警官と兵士を琉球に送り、武力を背景に琉球藩を廃し、沖縄県の設置を強行した (琉球処分)。沖縄県の統治に関して、政府は土地や租税制度などの改革を引きのばし、旧来の農民支配や重い収奪の制度を温存したので、沖縄の民衆は各地で旧制度撤廃の戦いを展開した。

台湾出兵 西郷従道 (1843~1902、西郷隆盛の弟) が強硬論を主張し、出兵がおこなわれた。『台湾新聞』月岡芳年画、早稲田大学図書館蔵)

できごと	本土	沖縄	北海道
廃藩置県	1871年	1879年	1869年 (開拓使), 1882年 (3県)
徴兵制施行	1873	1898	1874 (屯田兵制)
地租改正施行	1873	1899	1877
市町村制施行	1889	1908 (特別制)	1889 (区制), 1900 (1級町村制)
府県制施行	1891	1909 (特別制)	
衆議院議員選挙法施行	1890	1912	1902

本土・沖縄・北海道の行政施行年

### 国境の画定

大久保利通らが征韓論に反対した理由の一つとして、ロシアとの国境問題があげられる。日露和親条約以来、樺太の帰属は日露間の大きな問題であり、ロシアとの緊張関係を残したまま朝鮮と戦争をすべきではないと考えられた。明治六年の政変のあと、大久保は榎本武揚をロシアに派遣し、1875年にはロシアと樺太・千島交換条約を結んだ。この条約で、両国民が雑居し紛争の続いた樺太をロシアにゆずり、千島列島全体を日本領とした。樺太アイヌを北海道へ強制移住させる一方、樺太への出稼ぎ移民はその後継続して奨励された。また、1876年、小笠原諸島の日本領有を各国に通告し、帰属を確定した。こうして、日本の領土が国際的にも承認されることになった。

### 北海道の開拓

樺太を放棄したのは、北海道の開拓を重視したからでもある。1869年、政府は蝦夷地を北海道と改称し、開拓使を設置して移民を奨励した。1871年にはお雇い外国人ケプロンが来日して多くの政策を提言し、西洋技術導入に力をつくした。1874年には士族に対する授産の一つとして屯田兵制度を設け、屯田兵村を道内各地に建設し、軍事訓練とともに開拓と農耕に従事させた。また、河川や道路工事、鉄道敷設や鉱山の開発などに多数の囚人を動員し、過酷な労働を強いた。こうした開拓の進行にともない、先住民のアイヌは狩猟と漁労の場をせばめられた。政府はアイヌの同化政策をとり、日本の戸籍への編入と氏名・言語の日本化、農業につかせることを進めた。しかし、これはアイヌにとって伝統的な生活・文化の破壊を意味するものであった。また、アイヌは旧土人とよばれ、さまざまな社会生活上の差別をうけることになった。



琉球使節の那覇帰着

1872年、琉球から王政復古を祝う慶賀使が東京に到着した。そこで明治政府は琉球国王を琉球藩王として任じた。その使節の帰着風景。(山田真山画「琉球藩設置」明治神宮聖徳記念絵画館蔵)



屯田兵屋 当時の建物が復元されている。(北海道厚岸町)

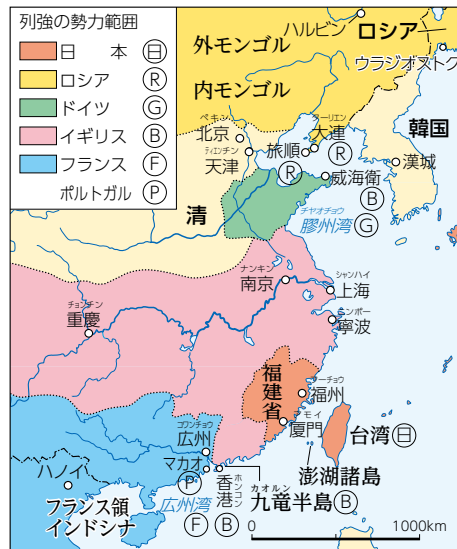
こののち1895年には尖閣諸島、1905年には竹島を、それぞれ閣議決定により日本領として編入した。技術導入をめざした学校が設置され、その後、1876年には札幌農学校と改称され、教頭にクラーク (1826~86) をむかえた。

北海道開拓によってアイヌの人びとの生活がどうして変化したのか、政府の政策とともに考えてみよう。





日英同盟協約の締結を記念した絵はがき



列強の中国分割

## 6 日清戦争後の政治と日英同盟

### 政党の発展

日清戦争後、藩閥政府と衆議院に多くの議席を有する政党との関係にも変化があらわれた。政府は議会・政党を無視して政治をおこなうことはできず、また政党も政権に近づくには政府との妥協が必要であった。こうして自由党などの政党は、政府と対立する民党としての特色を失いはじめた。このうごきに拍車をかけたのが、三国干渉にはじまるロシアとの対立を背景とした軍備増強の問題である。

1896 (明治 29) 年に第 2 次松方正義内閣は、進歩党 (立憲改進黨が発展) と提携し、軍備拡張を進めた。

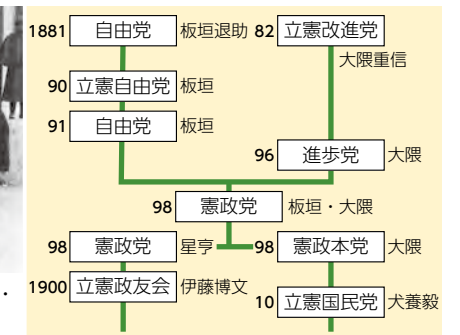
しかし、1898 年、第 3 次伊藤博文内閣が地租増徴案を衆議院に提出すると、自由党・進歩党はこれに強く反発した。6 月、両党ははじめて合同して憲政党を結成し、わが国最初の政党内閣である大隈重信内閣 (隈板内閣) が成立した。しかし与党の憲政党が、憲政党 (旧自由党) と憲政本党 (旧進歩党) に分裂し、わずか 4 か月で瓦解した。

その後、第 2 次山県有朋内閣は文官任用令の改正や軍部大臣現役武官制の制定などで政党の進出をおさえ、あわせて治安警察法を公布し、労働運動などへの取り締まりを強化した。山県に対して、同じ長州閥の伊藤は与党の必要性を痛感し、みずから政党の結成をめざし憲政党に接近した。1900 年、憲政黨員や伊藤派の官僚を中心に立憲政友会が結成され、伊藤みずからが総裁に就任し、同年、これを与党に第 4 次伊藤内閣が成立した。

1901 年、長州閥で陸軍大将の桂太郎が内閣を組織すると、伊藤・



8か国連合軍 左から英・米・露・インド (英領)・独・仏・オーストリア・伊・日本の各兵士。(英領インドをのぞいて8か国)



おもな政党の変遷 (明治期)

山県・松方らは第一線から退いたが、元老 (非公式の天皇の最高顧問) として天皇へ後継首相を推薦するなど、権力をにぎり続けた。

### 中国分割と日英同盟

日清戦争の敗北で清国の弱体ぶりが明らかになると、ヨーロッパ列国は、こぞって清国の拠点都市や港湾などを租借し、あわせて勢力範囲を設定して (中国分割)、清国の主権をおびやかした。中国分割に遅れをとったアメリカは、1899 年、国務長官ジョン=ヘイが中国の門戸開放・機会均等を提唱し、ヨーロッパ列国や日本を牽制した。

東アジアに拠点となる港を求めるロシアは、1898 年に遼東半島先端の旅順・大連を清国から租借し、三国干渉で遼東半島を返還した日本を強く刺激した。

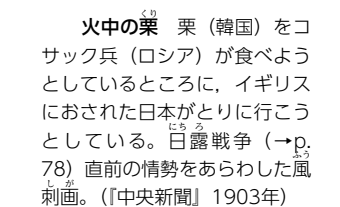
1900 年、義和団 (排外的な民間宗教の流れをくむ農村の自衛組織) が、ドイツの勢力範囲である清国の山東半島で勢力を拡大し、「扶清滅洋」(清を助け西洋を滅ぼす) を掲げて北京の列国公使館を包囲した。すると清国政府はこのうごきを利用し、清国に権益を拡大する列国に宣戦を布告した (北清事変)。しかし日本軍を中心に 8 か国連合軍が組織されると清国は降伏し、翌年には北京議定書が結ばれた。これによって清国は列国に対し、多額の賠償金の支払いや公使館守備隊の駐留を認めることになった。この間の混乱に乗じて、ロシアは清国東北部の満州のほぼ全域を占領し、満州にシベリア鉄道と接続する東清鉄道の建設をはじめた。さらに、満州と陸続きの韓国にもいっそう影響力をおよぼすようになり、日本に危機感をあたえた。

日本政府内には、ロシアと妥協すべきであるという意見もあったが、イギリスと同盟を結ぼうとする意見 (日英同盟論) が強まり、1902 年、桂内閣は日英同盟協約に調印した。こうして日本はロシアとの対立をさらに深め、外交交渉を継続しながらも戦争準備を進めていった。

### \* 租借

他国政府が期限を決めて土地を借り、排他的特権をもって支配すること。

▶ 4 1897 年には朝鮮は国号を大韓帝国 (韓国) と改めた。  
▶ 5 清国・韓国における権益をたがいに承認し、日本・イギリスのいずれかが第三国と戦う場合にはたがいに中立を守り、相手が複数の場合には共同して事態にあたるなどの規定が盛りこまれた。



火中の栗 (韓国) をコサック兵 (ロシア) が食べようとしているところに、イギリスにおされた日本がとりに行こうとしている。日露戦争 (→p. 78) 直前の情勢をあらわした風刺画。〔中央新聞〕1903 年



日英同盟協約が結ばれたことによって、世界における日本の立場はどのように変化したが、考えてみよう。





山本権兵衛 薩摩出身。第2次山県有朋内閣から第1次桂太郎内閣まで海相として活躍した。

ジューメンス事件の風刺画 ドイツのジューメンス社が、軍艦の受注に関して海軍高官に贈賄をしたことが発覚して問題となった事件。〔東京パック〕1914年

大正デモクラシーとは、どのような風潮なのだろうか。



犬養毅(左)と尾崎行雄(右) 護憲運動の先頭に立った立憲国民党の犬養毅と立憲政友会の尾崎行雄。



大正政変 衆議院正門前につめかけた民衆。(1913年2月)

## 1 護憲運動と大正デモクラシー

護憲運動と大正政変 1911(明治44)年に成立した立憲政友会を与党とする第2次西園寺公望内閣は、日露戦争後の慢性的不況が続くなかで、行財政の整理をその方針に掲げた。しかし陸軍は、前年に植民地とした朝鮮に駐留させるために2個師団の増設を要求してゆずらず、首相らがこれを拒否すると、陸軍大臣が辞任し、その後、後任大臣を出さなかった。そのため、内閣は総辞職に追いこまれた。元老は後継首相に長州閥で陸軍出身の桂太郎を指名し、1912(大正元)年、第3次桂太郎内閣が発足した。これに対し、政党を支持する国民の不満は高まった。

衆議院では、犬養毅や尾崎行雄らの政党政治家が桂内閣をきびしく批判し、「閥族打破、憲政擁護」を掲げた集会・演説会が全国各地で開かれた。この運動には政党員や実業家、新聞記者などのほか、多数の民衆が参加し、国民運動として広がっていった(第1次護憲運動)。

1913年、内閣不信任案が提出されると、桂首相は議会を停止し、詔勅によって同案を撤回させようとした。しかし、これに反発した民衆は大挙して議事堂を取り巻き、抗議を続け、2月には政府系の新聞社や交番を襲撃し、軍隊が出動する事態となった。このため桂内閣は53日で総辞職した(大正政変)。

### 史料 美濃部達吉の天皇機関説(『逐条憲法精義』)

統治権は常に国家に属する権利であつて、国家のみが統治権の主体である。国民主義を取るとしても、国民は国家の機関として統治を行ふのであり、君主主義において亦君主は国家の機関として統治の最高の源たるのである。

### 政変の余波

このあとには薩摩出身で海軍大将の山本権兵衛が首相となり、政友会の協力を得た内閣が発足した。第1次山本内閣は軍部大臣現役武官制の現役規定を削除し、また行財政整理に取り組んだ。しかし海軍が関係した汚職事件(ジューメンス事件)が1914年におき、国民の批判が高まるなかで退陣した。その後、民衆や言論界に人気のあった大隈重信が元老の推薦をうけ組閣した(第2次大隈内閣)。

### 大正デモクラシーの思想

明治末から大正時代にかけて、資本主義が発展してくると、都市を中心にさまざまな職業が成長し、それらに従事する都市中間層が形成されるようになった。彼らは、藩閥や軍閥などの特権階級中心の社会や政治のあり方に批判的で、国民の政治参加を強く求める傾向が強くなった。この風潮を大正デモクラシーという。

美濃部達吉と吉野作造は、大正デモクラシーを法律学(憲法論)・政治思想の面から発展させた。美濃部は、国家を法人と考え、天皇をその最高機関と位置づけ(天皇機関説)、他方で、議会の役割を重んじ、明治憲法をできるだけ国民的立場に立って解釈しようとした。吉野は、1916年、雑誌『中央公論』に論文を発表し、思想界に強い影響をあたえた。そのなかで彼は、デモクラシーの訳語として民本主義を用い、天皇制のもとにおける民主主義の確立の必要性を説き、普通選挙の実現や政党内閣制の確立を主張した。また吉野は、普通選挙、労働運動の自由化、言論の自由の擁護、軍国主義的アジア政策の修正などを民衆によびかけるなど、大正デモクラシーの展開に大きな役割をはたした。

### 史料 吉野作造の民本主義(『中央公論』1916年1月号)

民本主義といふ文字は、日本語としては極めて新しい用例である。従来は民主主義といふ語を以て普通に唱へられて居つたやうだ。…然し民主主義といへば、…「国家の主権は人民にあり」といふ危険なる学説と混同され易い。…我々が視て以て憲政の根底と為すところのものは、政治上一般民衆を重んじ、其間に貴賤上下の別を立てず、而かも国体の君主制たと共和制たとを問はず、普く通用する所の主義たるが故に、民本主義といふ比較的新しい用語が一番適當であるかと思ふ。

▶1 陸・海軍大臣は現役の大将・中將に限るとされていた規定を削除し、現役を退いた予備役・後備役でも、たんに大将・中將であればよいとした。



美濃部達吉 兵庫県出身。



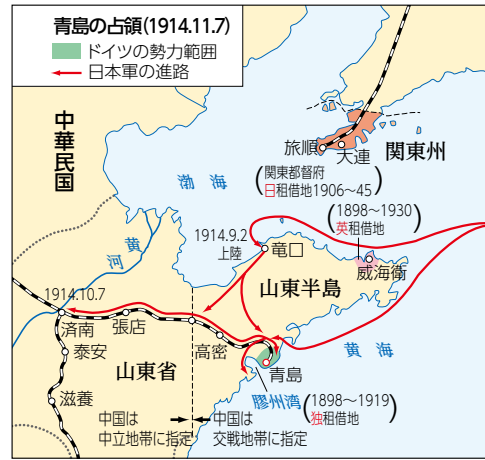
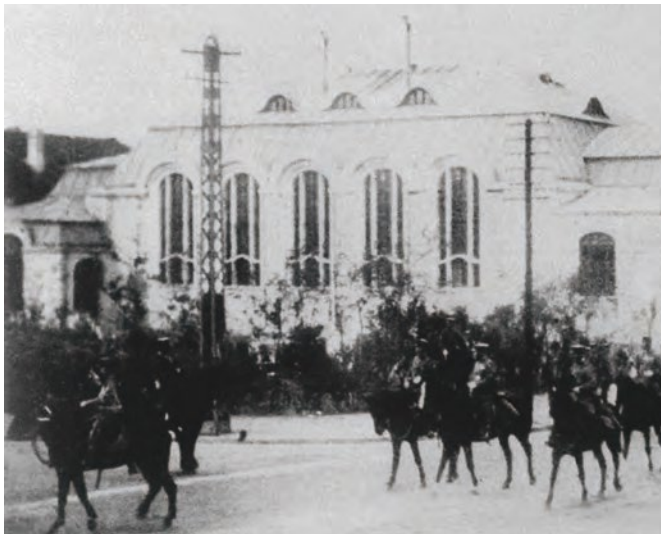
吉野作造 宮城県出身。

### 石橋湛山「小日本主義」

国民世論の圧倒的な政府支持のもとで小日本主義を説いたのが、雑誌『東洋経済新報』とその主幹の石橋湛山(→p.164)らであった。30歳の湛山は、日本の第一次世界大戦への参戦を、「わが国の存立を危機に陥れる大事件」とし、二十一か条要求を愚策と批判し、将来の日本の孤立化を予言した。のちのシベリア出兵に対しても、政府や軍部を批判し、自由主義の立場からソビエト政府を擁護した。また国内問題では、普通選挙を説いた。彼の思想は、植民地不要論を基盤として、明治時代の内村鑑三らの小国思想を継承し、大正デモクラシーの一翼を占めるものでもあった。

民本主義と現在の民主主義を比較して、違いを考えてみよう。





日本の第一次世界大戦への参戦 日本は1914年11月、ドイツの租借地青島を占領した。

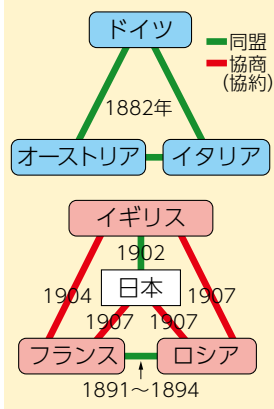
青島に入る日本軍

日本が第一次世界大戦に参戦した理由を考えよう。

▶1 第一次世界大戦は「日本の国運を発展させる大正時代の天佑(天の助け)」であるとされ、加藤高明外務大臣は閣議で日英同盟のよしみと、ドイツの根拠地を東洋から一掃して日本の地位を高めることを理由に参戦すると説明した。

▶2 孫文は革命をおし進めるために、民族主義・民権主義・民生主義の三民主義をとなえた。

第一次世界大戦における国際関係 イタリアは同盟側であったが、領土問題でオーストリアと対立していた。そのため連合国側についた。



## 2 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化

**第一次世界大戦の勃発** ヨーロッパでは、しだいにドイツ・イタリア・オーストリアによる三国同盟と、イギリス・ロシア・フランスによる三国協商との対立がはげしくなった。1914年6月、バルカン半島で、オーストリアの皇位継承者夫妻が暗殺されるという事件がおこった(サラエボ事件)。これをきっかけとして、第一次世界大戦がはじまった。イタリアは、翌年5月に協商(連合)側に加わり、ドイツ側にはオスマン帝国(トルコ)とブルガリアが加わり、戦火はヨーロッパ全土に広がった。

**日本の参戦** ヨーロッパでの戦争勃発を、第2次大隈重信内閣は国力を高める好機ととらえ、これに参戦することで、日本の国際的地位を向上させようとした。

日本は日英同盟を根拠に、1914(大正3)年8月、連合国側に立って第一次世界大戦に参戦し、ドイツに宣戦を布告した。そしてただちにアジアにおけるドイツの根拠地であった中国の山東半島の青島とドイツ領南洋諸島を占領した。一方、主戦場であるヨーロッパには、地中海に小艦隊を派遣しただけにとどまった。

**辛亥革命と二十一条の要求** 1911年、中国では孫文らが指導する中国同盟会が清朝打倒を掲げて蜂起した(辛亥革命)。翌年1月、革命派は各省の代表者を集めて孫文を臨時大総統とする臨時政府を南京に発足させ、中華民国が成立し、2月に清朝は滅亡した。しかし諸勢力の対立のなかで、革命を主導した孫文は、旧清国の軍人で北方軍閥の袁世凱に臨時大総統の座をゆずり渡すこととなった。

中国での勢力拡大をねらっていた日本は、欧米諸国が東アジアに注意を払うことができなかった大戦中の1915年1月、権益の拡大をねらって袁政権に、二十一条の要求をつきつけた。その内容は、(1)山東省におけるドイツ権益の継承、(2)旅順・大連の租借地および南満州鉄道権益の99か年の延長、(3)中国の島や沿岸の他国に対する不割譲の承認、(4)中国政府への日本人顧問の採用などであった。

中国政府はこれに反発し、民衆は日本製品のボイコットを含む抗議行動を展開した。日本政府は日本人顧問の採用などの要求を撤回したものの、最後通牒を送って同年5月にそのほかの要求を中国政府に認めさせた。このことは、中国民衆のはげしい怒りをよびおこし、中国政府が要求を受け入れた5月9日は「国恥記念日」とよばれ、日中関係は悪化した。

第2次大隈内閣の次の寺内正毅内閣は、袁世凱死後、政権の中枢に段祺瑞を援助するため、1917年から巨額の資金を貸しつけて日中関係の改善を進める政策をとった(西原借款)。また、日本のうごきに批判的であったアメリカと、1917年、石井-ランシング協定を結び、日本の中国における特殊権益の承認、中国の領土保全・門戸開放を確認しあった。

**ロシア革命とシベリア出兵** 第一次世界大戦中の1917年3月、ロシアでは革命がおこり、帝政が滅んで臨時政府が成立した(二月革命=三月革命)。そして11月には、ボルシェビキ(のちの共産党)の指導者レーニンに率いられて社会主義革命がおこり、ソビエト政府が誕生した(十月革命=十一月革命)。ソビエト政府は、世界大戦を帝国主義戦争と非難し、「無賠償・無併合・民族自決」の3原則を掲げてドイツと講和を結び、戦線から離脱した。

世界で最初社会主義政権の樹立に脅威を感じた資本主義国の欧米列強は、捕虜としてシベリアに取り残されていたチェコスロバキア兵の救出を名目に出兵して、革命干渉戦争に乗り出した。

日本は、1918年にシベリアに出兵した。革命派の抵抗が続いたため、列強は1920年までに撤兵したが、日本は10億円の国費と戦死者3500人の犠牲を払いながら、1922年までシベリアに駐屯し、領土的野心を疑われることとなった。



二十一条の要求に反対するポスター

**\*最後通牒** 外交交渉の最終的な要求を示し、相手国が受け入れなければ交渉を打ち切り、武力行使にうったえることを述べたもの。

▶3 合計1億4500万円の巨額にのぼった。寺内首相の私秘書の西原三三が直接交渉をおこなったので西原借款という。借款とは国家間での資金の貸し借りのこと。

▶4 アメリカ国務長官ランシングと特派大使石井菊次郎とのあいだで結ばれた。

▶5 ロシアでは、革命前までユリウス暦(ロシア暦)が使われていた。革命がおきたときはユリウス暦の2月で、太陽暦では3月であった。

▶6 このち1922年に4(1945年までに15)共和国からなるソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)が成立した。

シベリア出兵要図



第一次世界大戦中の日中関係の変化について考えてみよう。



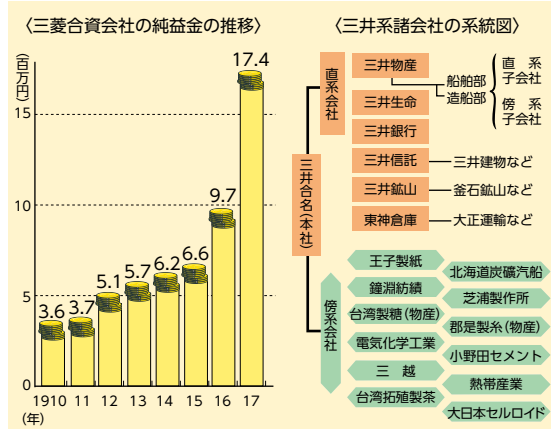


**米騒動の拡大** 米騒動は38市・153町・177村に広がった。検事処分を受けた者8100人あまり、起訴された者7700人あまりであった。とくに被差別部落の人びとの検挙率が高かった。上は米屋を襲う名古屋の民衆。(徳川美術館蔵「米騒動絵巻」より模写)

第一次世界大戦は日本経済にどのような影響をあたえただろうか。

**\*コンツェルン**  
同一の資本のもとに、多くの異業種企業を傘下におく産業支配体制をいう。

**財閥の成長** (『日本金融資本分析』より)



### 3 大戦景気と米騒動

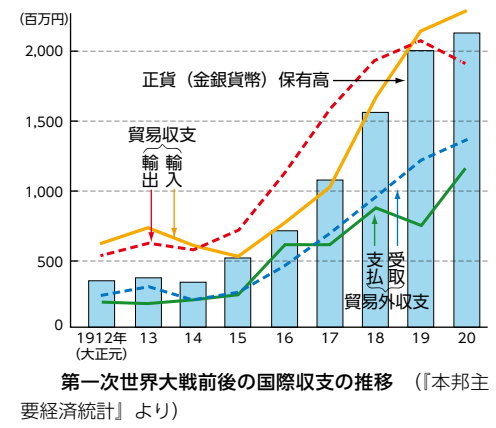
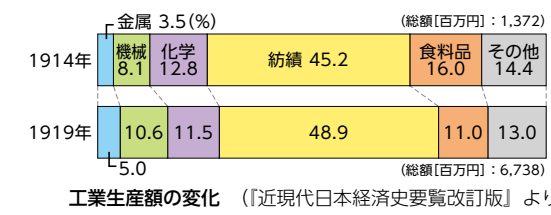
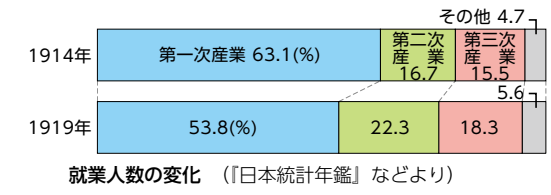
**大戦景気** 第一次世界大戦が始まると、連合国への軍需品に加え、大戦で好景気のアメりカへの生糸、

ヨーロッパから輸出のとだえたアジア・アフリカ諸国への綿糸・綿織物など、日本の輸出が急増し、日露戦争後の慢性的不況は、一気に好況に転じた (**大戦景気**)。海運・造船業は活況を呈し、**船成金**が続出した。国内生産の伸びもいちじるしく、1914 (大正3) 年から19年にかけて4倍近い成長を示した。貿易収支は輸入超過から一転して大幅な輸出超過となり、貿易外収支の黒字とあわせ、巨額の外貨が流入した。こうして日本は、大戦前の債務国から債権国となった。

好景気のなかで、銀行の発展もめざましく、三井・三菱・住友などは、銀行業を中心に**コンツェルン**の形態をとる**財閥**として、経済界で大きな力をもつようになった。

**重工業の発展** とくに工業の発展がめざましく、大戦前とくら

べると大戦後には工業生産額が約5倍となり、総生産額中に占める工業生産額の割合も農業生産額をこえ、工業国としての地位を確立した。急成長した工業部門のなかでも、機械工業、化学工業などの重化学工業部門の伸びが顕著であったが、繊維産業をはじめとする軽工業部



門も成長し、工業生産に占める軽工業の比重は依然として大きかった。また、農業生産額も増加した。農業の発展を支えたのは、製糸業の活況にもとづく養蚕や、工業発展による都市人口の増加に対応して農業が進展したからである。しかし、米や麦の生産は停滞気味であった。

大戦景気によって農業と工業との成長速度や所得格差が広がり、いわゆる経済の二重構造とよばれる日本経済の特質が定着した。この格差は、工業内部における大企業と中小・零細企業とのあいだにも拡大した。この二重構造は、こんにちにおいても解消されていない問題である。

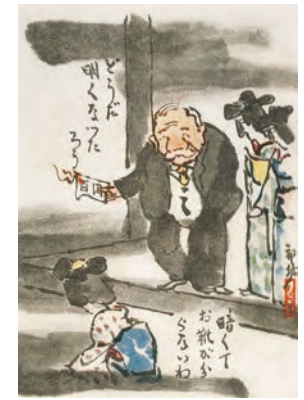
**米騒動** 大戦景気によって日本の経済は好転し、労働者数が激増して、労働者の賃金も上がったが、物

価の上昇はそれをはるかに上まわり、庶民は苦しい生活を強いられていた。とくに米は1918年春から値を上げ、7月のシベリア出兵による米価の値上がりを見こんだ地主や米穀商が、買い占めや売り借しみを

おこなったため、米価は暴騰し、国民生活に深刻な影響をあたえた。7月下旬、富山県で米の県外積み出しのうわさを聞いた女性たちが、集団で米屋におしかけて、米の安売りと積み出し中止を求めた。このニュースが「越中の女一揆」として新聞で報道されると、騒動はたちまち全国に広がり、各地で暴動や焼き打ちがおきた (**米騒動**)。

政府は、警察のみならず軍隊も出動させて、9月中旬ようやく米騒動を鎮静化したが、高まる政府批判の世論のなかで、寺内正毅内閣は責任をとって総辞職した。

この米騒動は、民衆の不満を背景にした、計画性や組織性のないものであったが、民衆の政治的自覚を促し、社会運動を大きく発展させることとなった。



**成金** 料亭の玄関で靴を採すために、100円札に火をつけて明かりのかわりにする成金のようすを風刺したもの。成金とは、将棋で一番弱い歩が敵陣に入ると金に「成る」ことからきた言葉で、急に金持ちになった人をいう。この時代、船成金と鉄成金がその代表であった。(灸まん美術館蔵)

**米騒動を報じる新聞** 「越中の女一揆」が起きた年は豊漁で魚の価格が下がり、漁民たちの生活は苦しかった。そのうえ米価が急騰したため、家計を引き受けていた女房たちが米の積み出し中止を懇願して米騒動となった。(1918年8月5日)



米騒動が国民の考え方やその後の運動に与えた影響を考えてみよう。





**極東国際軍事裁判（東京裁判）** 1946年5月3日から東京市ヶ谷の旧陸軍省の建物で、政治・軍事の最高指導者（A級戦犯）を対象に開始された。

アメリカを中心にGHQは日本をどのような国に改革しようとしたのだろうか。

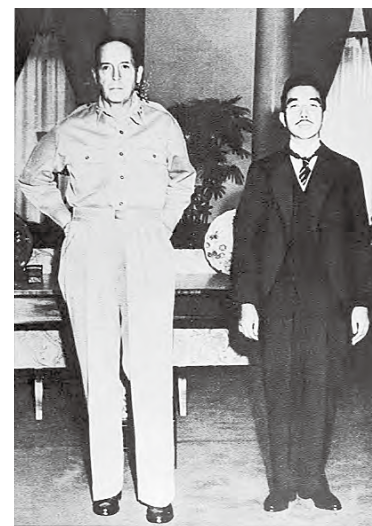
内閣総理大臣の変遷		
年	総理大臣	出身・政党
1945	東久邇宮稔彦	皇族
1945	幣原喜重郎	日本進歩党
1946	吉田茂①	日本自由党
1947	片山哲	日本社会党・民主党・国民協同党
1948	芦田均	民主党・日本社会党・国民協同党
1948	吉田茂②	民主自由党
1949	吉田茂③	民主自由党
1952	吉田茂④	自由党
1953	吉田茂⑤	自由党

▶ 1 小笠原諸島、奄美諸島、沖縄諸島などはアメリカの直接軍政下におかれた。

## 1 占領と改革

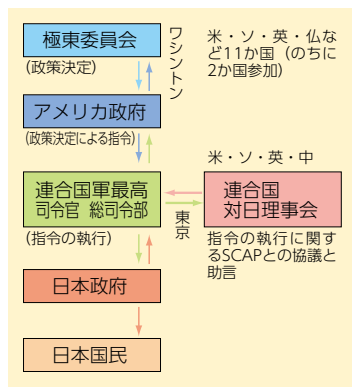
**国際連合** 国際連盟にかわる戦後の平和維持機関をつくるため、ドイツ降伏後の1945年6月、連合50か国は、国際連合憲章を採択し、10月に**国際連合**を発足させた。国際連合は**安全保障理事会**を設置し、そこに武力の行使を含めた強い権限をあたえた。こうして、常任理事国であるアメリカ・イギリス・ソ連・フランス・中華民国の5か国を中心とした国際協調体制がとられた。その後、戦争で荒廃したイギリス・フランスにかわって、アメリカが資本主義国のなかで影響力を強め、社会主義国のソ連が力をつけていった。アメリカ・ソ連の両国は戦後世界の主導権をにぎることになった。

**敗戦と占領** 降伏した日本は、**ポツダム宣言**にもとづいて、連合軍に占領されることになった。日本の領土は、本州・北海道・九州・四国と連合国の定める諸小島に限られた。連合国は、東京に**連合軍最高司令官総司令部（GHQ）**をおき、連合軍最高司令官（SCAP）**マッカーサー**の統括下に占領政策を実施した。GHQは、指令・勧告を発して日本政府に政策を実施させる**間接統治**の方法をとった。対日占領政策の最高決定機関として11か国からなる**極東委員会**がワシントンに、最高司令官の諮問機関として米・英・ソ・中からなる**対日理事会**が東京に設置されたが、事実上、占領政策はアメリカ政府の政策が強く反映されるものとなった。



**進駐軍の兵士にキャンデーをねだる子どもたち**（1945年9月21日、長野県軽井沢）

**昭和天皇とマッカーサー** 1945年9月、アメリカ大使館にマッカーサーを訪問した昭和天皇。



**連合軍の日本占領機構**

GHQは1945（昭和20）年10月、天皇に関する自由討議の保障、政治犯の釈放、特別高等警察の廃止、治安維持法の撤廃などを要求した。敗戦直後に成立した東久邇宮稔彦内閣は、この民主化指令に対応できず総辞職し、次の**幣原喜重郎**内閣のもとで実施に移された。その一方で、GHQはプレスコードを発し、占領政策を批判するような報道は、事前検閲により禁止した。

また、GHQは、1946年1月、軍国主義者や軍人、大政翼賛会の関係者、植民地関連の会社役員などに対する**公職追放**を指令した。戦時中、市町村長だった者は、大政翼賛会の市町村部長を兼任していたため、その地位を失った。

**極東国際軍事裁判** 当初の占領政策の基本方針は、日本の**非軍事化**と**民主化**であった。GHQは、日本軍を完全に解体し、戦争犯罪容疑者を逮捕して、1946年5月から**極東国際軍事裁判**（東京裁判）でその戦争責任を追及した。東条英機ら戦争指導者を中心に28名がA級戦犯の被告として起訴された。1948年11月、東条ら7名の死刑をはじめとして、25名に有罪の判決が下った。

**天皇の人間宣言** 神社は国家から分離されて特別な地位を失い、**国家神道**は解体された。1946年元日の詔書で、昭和天皇はいわゆる**人間宣言**をおこなって、「現御神」の神格をみずから否定した。天皇は、同年2月から全国各地を巡幸し、国民と直接言葉をかわした。1947年には、華族に特権的身分を保障してきた**華族令**も廃止された。



**がらがらの貴族院議場** 公職追放により貴族院では178名が追放された。（1946年6月）

**天皇巡幸** 昭和天皇は2月19日の神奈川県をかきりに全国への巡幸をおこなった。





年	月	占領と改革の流れ
1945	8	マッカーサーの来日
	9	降伏文書へ調印
	10	政治犯の釈放と治安維持法・特別高等警察の廃止。五大改革を指令
	11	持株会社の解散を指令。日本社会党・日本自由党・日本進歩党が結成
	12	農地改革を指令（第一次）。衆議院議員選挙法の改正。労働組合法公布
1946	1	天皇の人間宣言。公職追放を指令
	2	金融緊急措置令の施行
	4	戦後初の総選挙
	5	メーデーの復活。東京裁判開廷
	10	農地改革関連諸法施行（第二次農地改革）



農地改革のポスター 農林省（当時）が啓蒙用につくった広報資料。（国立公文書館蔵）

▶2 1946年に労働関係調整法、47年には労働基準法ができた。これらをあわせて**労働三法**という。

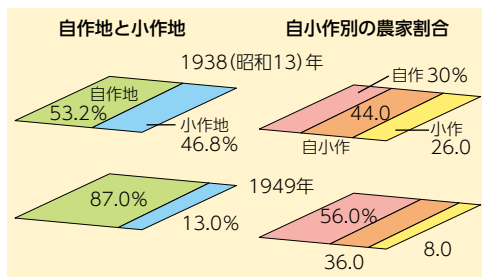
▶3 総力戦体制下の農業政策によって、実質的な小作料は低下し、地主制は大きくゆらいでいた。そのため戦後の農地改革は、戦時中の政策から連続するものと考えられることができる。

▶4 独占禁止法は持株会社やカルテルなどの禁止を、過度経済力集中排除法は独占的な巨大企業の分割をめざした。

▶5 在村地主の小作地保有を5町歩まで認め、小作料は金納化した。その率は制限しなかった。

▶6 山林は農地改革の対象外とされ、山林地主はそのまま残された。

**農地改革の成果** 第2次農地改革の結果、小作地の割合は激減し、自作農を中心とした戦後農業の基盤ができた。（『近代日本経済史要覧』より）



### 民主化の推進

GHQは、女性の解放（男女同権）、労働組合結成の奨励、教育の民主化、圧政的諸制度の廃止、経済の民主化の**五大改革**を指示した。これをうけて1945年12月、衆議院議員選挙法が改正されて**女性参政権**が実現した。また、**労働組合法**が制定されて、労働者の団結権・団体交渉権・争議権（**労働三権**）が保障された。さらにGHQは、経済の民主化を進め、軍国主義の基盤としての財閥と寄生地主を解体し、自作農創設を推進した。

1945年11月、GHQは**財閥解体**を指令した。翌年、政府は持株会社整理委員会を設け、三井・三菱・住友・安田など15の財閥の持株会社を解散させ、財閥の所有する株式や社債などをゆずりうけ、広く国民に売り出した。1947年には**独占禁止法**や**過度経済力集中排除法**が制定された。しかし、巨大企業の分割は徹底されず、旧財閥系は企業グループとして戦後の日本経済にない手となった。

1945年12月、GHQは**農地改革**の指令を出し、日本政府は第1次農地改革をおこなったが、その内容は不徹底であった。翌年、第2次農地改革を実施し、不在地主の全貸付地（小作地）と、在村地主の小作地のうち1町歩（北海道では4町歩）をこえる分を国が強制的に買収し、無償に近い金額で小作農に売り渡すことになった。小作料は低額の金納となり、田については収穫米代金の25%までとされた。これらの諸改革により、明治以来の**寄生地主制**は解体された。

小作料は低額の金納となり、田については収穫米代金の25%までとされた。これらの諸改革により、明治以来の寄生地主制は解体された。

## 敗戦と文化財流出

なぜ海外の美術館や博物館が、日本の美術品を多く所蔵しているのだろうか？

幕末・明治維新期には、日本で価値の下がった浮世絵や仏像などが大量に西欧社会に流れ出た。1929（昭和4）年に文化財保護に関する「国宝保存法」が公布されたが、戦後の社会混乱によって、ふたたび国外へ流出していった。

占領期に、GHQ民間情報教育局の美術記念物課は、日本国内の古美術や宝物を調査した。課長を務めたハワード＝ホリスやシャーマン＝リーは、強制的に取り立てた美術品の処分を監督し、市場に出たコレクションを調査した。彼らが購入した美術品は、クリーブランド美術館やシアトル美術館のコレクションに入った。

アメリカ人の日本美術品への興味や収集は、第二次世界大戦が転換点になったと言われている。戦争中、日本語や日本文化に関する知識は、アメリカ政府にとって貴重なものであった。そのため、日本文化の研究がおこなわれたのだ。

1950年、「文化財保護法」が施行された。その目的は、文化財の保存・活用と国民の文化的向上である。

終戦直後の大連で、日本人の命を救ったのは日本絵画だった。どういうことか？

日本美術品の移動先はアメリカだけではなく、旧満州大連市の商工会議所会頭であった首藤定は、財界人であり、美術収集家であり、若い芸術家の後援者でもあった。

敗戦時、在留邦人を救済するため、首藤は美術コレクションの中から浮世絵や日本画560点あまりを選び出し、ソ連軍司令部に引き渡した。そのかわりとして雑穀100トンをもたらすうけ、食糧難に苦しむ日本人を救った。

「首藤定コレクション」とよばれる作品群は、長いあいだロシア国立東洋美術館に保管されていた。2000（平成12）年に120点あまりの里帰りを実現し、長い歳月をへて、歴史の影に封印されていた作品が公開された。

海外の美術館やコレクターが所蔵する日本の絵画や工芸などの文化財が、一時的に日本に帰って国内を巡回する展覧会を、しばしば「里帰り展」とよぶ。文化財の流出を、損失とみなすか、その対価として得たものを利益とみなすか。美術品の移動は、国際関係の重要な一つの側面である。流出を一つの文化交流とみるならば、美術品が戦後日本の外交にはたした役割は大きい。



◀ 納涼之図（江戸時代中期、宮川長春作、ロシア国立東洋美術館蔵）

▼ 首藤定（1890～1959）大分県出身の実業家で大連を中心に活躍した。



▼ 伊勢物語図色紙、住吉の浜（17世紀、俵屋宗達筆、クリーブランド美術館蔵）



占領中の改革が現代の日本社会にどのように影響しているか確認してみよう。









新安保条約の強行採決 議長席につめ寄る野党議員から衆院議長（写真中央）を守ろうとする自民党議員。（1960年5月19日）

60年安保闘争 1960年6月15日、第2次実行行使（580万人参加）がおこなわれ、国会周辺におよそ10万人のデモ隊がおしよせ、混乱のなかで女子学生1名が死亡した。

さまざまな平和運動が高まった背景を考えてみよう。

## 2 平和運動と安保闘争

### 平和を求めよう

吉田茂内閣による逆コース政策、鳩山一郎内閣

の改憲・再軍備路線に対し、革新政党や労働組

合は、憲法擁護、再軍備反対、米軍基地反対などを主張する平和運動を展開した。こうしたなか、1954年には、第五福竜丸事件がおこった。

アメリカが西太平洋のビキニ環礁でおこなった水爆実験により、日本の漁船第五福竜丸の乗組員が「死の灰」を浴びて被ばくし、1名が死亡した。これにより、核兵器に反対する気運が強まり、原水爆禁止運動が高揚した。また、1950年代、米軍基地に反対する運動が各地で発生し、石川県で内灘事件、東京都で砂川事件が発生した。

一方、世界においても平和共存が説かれ、東西冷戦にも緩和のきざしがみられるようになった（雪解け）。1955年、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連により、ジュネーブ四巨頭会談がおこなわれ、ドイツ問題やヨーロッパの安全保障、軍縮問題、東西交流などを協議した。

さらに1958年にソ連首相となったフルシチョフは、平和共存路線を打ち出した。アジアでは、1954年、インドのネルー首相と中国の周恩来首相が主権尊重、相互不可侵などの平和五原則を提唱した。1955年には、インドネシアのバンドンでアジア・アフリカ会議（バンドン会議）が開かれ、平和十原則が宣言されて、反植民地と非同盟中立を掲げる第三勢力も台頭した。

ビキニ環礁での水爆実験（左）と被ばくした第五福竜丸（右） 西太平洋のビキニ環礁において、アメリカは、事件後も核実験をくり返した。2010年、ビキニ環礁はユネスコの世界文化遺産に登録された。いわゆる「負の世界遺産」の一つである。



第1回原水爆禁止世界大会 東京都杉並区の主婦たちのよびかけで、約1年間に3000万人をこえる原水爆禁止署名が集められ、世界の世論をうごかした。全世界で6億7000万あまりの署名が集まったことが報告された。（1955年8月6日、広島県広島市）



砂川事件 1955年、市民・労働組合員・学生らが米軍立川基地拡張に反対しておこし、安保条約と憲法をめぐる裁判と

核兵器の制限についても、世界的課題となり、1963年、アメリカ・イギリス・ソ連は部分的核実験停止条約に調印した。さらに、1968年、アメリカ・イギリス・ソ連を中心に核兵器拡散防止条約が調印された。日本では、佐藤栄作首相が、1967年に核兵器を「作らず」「持たず」「持ち込ませず」という非核三原則を掲げた。

### 日米新安保条約

1957年に成立した岸信介内閣は、経済力の復興と自衛力の強化をめざし「日米新時代」をと

なえ、アメリカと安保条約の改定交渉を進めた。1960年1月に調印された日米相互協力および安全保障条約（新安保条約）では、新たに日米経済協力の促進を掲げ、相互の防衛力強化や共同防衛などを規定した。

新条約は軍事同盟の性格が強く、アメリカのアジア戦略（ソ連・中国・北朝鮮に対する封じこめ、東南アジア共産化の防止）に日本が組みこまれ、ふたたび戦争となる危険があるとして反対する議論が国民やマスコミのあいだで巻きおこった。そして、新安保条約に反対する運動が、安保改定阻止国民会議などを中心に進められた。

1960年5月、岸内閣が、衆議院において新安保条約の承認を自民党主流派のみの出席で強行採決すると、安保改定阻止に加えて民主主義擁護、岸内閣打倒を掲げる運動が急速にもりあがり、学生や市民が国会を包囲した（60年安保闘争）。こうしたなかで、新条約は、参議院での審議をへないまま6月に自然成立し、批准の手続きを終えたうえで、7月、岸内閣は総辞職した。



岸信介 東条英機内閣では商工大臣をつとめた。戦後、A級戦犯容疑者として逮捕されるが、起訴を免れた。佐藤栄作は弟、安倍晋三は孫である。

▶1 この組織には、134団体の代表が集まった。日本社会党・総評など13団体が幹事となり、日本共産党はオブザーバーの地位にあったが、実際には会議の運営に少なからぬ影響をあたえた。

▶2 全国で500万あまりの労働者が3次にわたる統一行動に参加し、労働者・学生・市民らのデモが連日国会を包囲した。

新安保条約が現代の日米関係にどのような影響を残しているか考えてみよう。







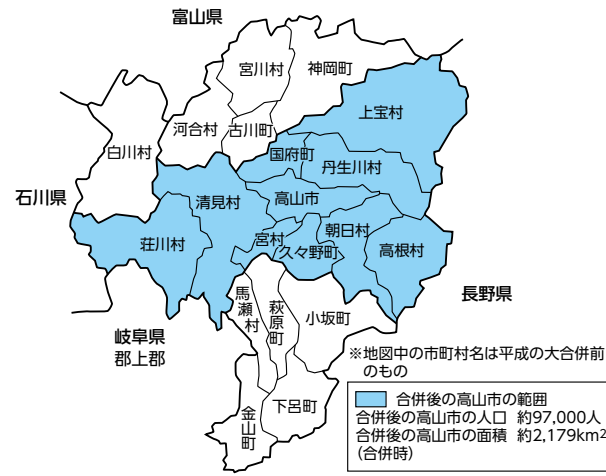
近代・現代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向は、相互に深くかかわっているという観点から、地域社会の変化について、テーマを設定し、追究する活動をとおして、歴史的な見方や考え方を身につけていこう。

ここでは、市町村合併をその例として、歴史的な意義やこれからの地域社会への展望を含め、考えをまとめて表現してみよう。

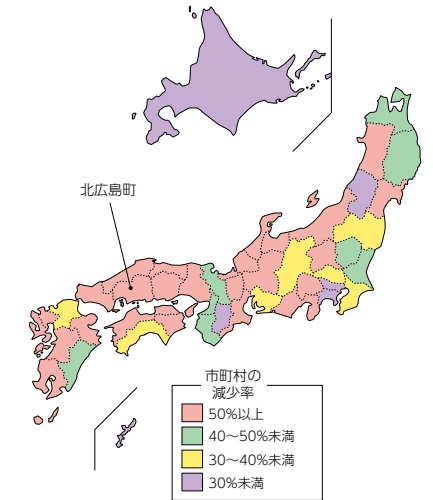
近年おこなわれた平成の大合併のおよそ半世紀前にも昭和の大合併が実施されている。アジア太平洋戦争のあと、日本社会は民主化と非軍事化が課題とされるとともに、地方自治の育成が謳われ、そのため自治体財政の強化の必要から1953（昭和28）年に町村合併促進法が、さらに56年に新市町村建設促進法が施行され、全国的に市町村合併が加速化された。この結果、基礎的自治体数は1953年の9,868から1961年には3,475となり、およそ3分の1にまで減少している。

さらに大合併の歴史をたどると、1889（明治22）年4月1日に明治の大合併が全国いっせいに施行されている。この合併前の1888年には町村数が71,314であったが、それが15,859にまで減少した。約5分の1になったわけである。

明治、昭和、平成とおよそ半世紀ごとに大合併がおし進められ、70,000強から1,700あまりにまで大きく減少した。この背景にはそれぞれの歴史的経緯がある。



▲岐阜県高山市 平成の大合併で面積が東京都より大きくなった。

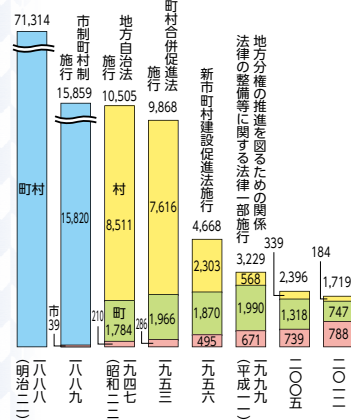


▲市町村合併の進展状況 1999年3月31日から2010年3月31日までの減少率。

### 市町村合併の歴史

わたしたちがくらしているまちやむらは市区町村とよばれ、日本の基礎的<sup>きそ</sup>地方公共団体として位置づけられている。その数や境界は決して固定されているわけではない。市町村合併を経験しながら、なじみのある名称<sup>めいしやう</sup>は変更され、境界は広域化し数は減少していく傾向にある。

では、その数は全国にどれくらいあるのだろうか。平成の大合併を終えた2012（平成24）年3月末現在でみると、市区町村は1,719を数える。合併前にはおよそ3,200ほどであったから、合併によっておよそ半分近くに減少したことになる。





現代の社会やその諸課題が、歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる主題を、自分で探してみよう。さらに資料を活用して探究し、課題解決に向けてその考えをまとめ、表現する学習に取り組んでみよう。取り上げる主題としては、人権、環境、情報、国際理解などのほか、私たちの身近な衣食住、交通、風習や民間信仰、地域社会などの歴史的な変化も考えられる。

ここでは、近年、ニュースや政治のうごきなどで注目を集めた「沖縄の基地」の問題を課題として設定し、探究する学習を事例として取りあげてみる。調べた事柄を整理して、わかりやすく説明する方法についても、プレゼンテーションソフトを使用する表現を試みた。さらに、原因と結果の因果関係を考える観点から、歴史を時系列にたどるのではなく、さかのぼって考える方法で考察を進める。

わたしたちは、ニュースや新聞で取り上げられていた沖縄の普天間基地の問題に強い興味をもちました。そこで今までの「日本史A」の学習を参考に、歴史をとおして沖縄にはなぜアメリカ軍基地が多く存在しているのかについて調べ、この問題をどのように解決していくべきなのか、自分たちなりの手が見出したいと考えました。

### ① 序論

このように、課題設定の理由をまず述べましょう。なぜこのテーマを選んだのか、自分が興味をもった理由、これから何を調べて発表するのか、全体を見通せるようにしましょう。また、課題について、自分なりに考えていることなどもちょっとコメントするのもいいでしょう。



▲ 普天間基地移設反対集会のようす (2010年3月26日, 沖縄県庁前)

新聞やテレビのニュースなどで取り扱われる問題だけでなく、身近なところにある疑問や関心も取りあげてみよう。

### ● 沖縄のアメリカ軍基地の現状

下のスライドや右ページの地図をみてください。これらから考えられることは、沖縄県におけるアメリカ軍基地・施設は、人びとの生活に大きくかかわっているということです。こうした現状のなかで、沖縄県民は危険と隣りあわせの暮らしを強いられ、騒音問題やアメリカ兵の不祥事などに苦しめられているのです。

どうしてこんなに極端な状態になっているのか、私たちは沖縄の歴史をさかのぼって考えてみることにしました。

ホームページや図書館などで関連する資料を探して、いろいろな視点からの情報を集めましょう。どのような順番で発表するかをイメージして、プレゼンテーションソフトなどで整理してみましょう。

**沖縄の基地問題と私たちの課題**  
～現代からの探究～  
地域の歴史と日本の抱える課題

**沖縄のアメリカ軍基地の現状(1)**  
◎普天間基地  
住宅密集地のなかにある。その周辺には住宅や学校などの公共施設がせまっている。

**沖縄のアメリカ軍基地の現状(2)**  
2010年3月現在、沖縄県には34の米軍施設が存在し、その総面積は2万3,293.9ha。これは県の総面積の約10.2%におよびます。また、沖縄本島だけを見ても18.4%もが軍の施設となっているのです。さらに、日本の国土全体で考えてみると、0.6%の面積しか占めない沖縄県が、全国の米軍基地(米軍専用施設)の面積にして約74%を占めているのです。

比較対象	面積の割合
沖縄本島における米軍基地の面積の割合	18.40%
日本全国に占める沖縄県の面積の割合	0.80%
沖縄県に占める米軍基地の面積の割合	81.60%
沖縄県に占める米軍専用施設の面積の割合	73.90%
日本全国に占める米軍専用施設の面積の割合	26.40%
日本全国に占める米軍専用施設の面積の割合 (沖縄県)	99.40%

### ● アメリカによる沖縄支配 (アメリカ世)

1945(昭和20)年8月にアジア太平洋戦争が終結すると同時に、アメリカ軍は奄美諸島・小笠原諸島とともに、日米のはげしい地上戦が展開された沖縄諸島を日本本土と切り離して直接統治をはじめました。これはアメリカがこれらの地をアジア・太平洋の軍事戦略上重要な地と考えたからです。とくに沖縄本島は地図で見れば明らかのように、東アジアの中央に位置しています。

戦後、東西冷戦が深刻化し、とくに朝鮮戦争が勃発すると沖縄の米軍基地の軍事的役割が飛躍的に高まり、沖縄本島は極東最大の米軍基地に発展しました。沖縄は米軍にとって「Keystone of the Pacific(太平洋の要石)」となったのです。この間、アメリカ軍は軍事施設として次つぎに集落や農地を強制的に接収し、住民はこのことを「銃剣とブルドーザーによる土地接収」とよんだそうです。こうして沖縄本島の米軍基地が拡大されていったのです。

1951(昭和26)年にサンフランシスコ平和条約が調印され、翌年日本は独立を回復しましたが、日米安全保障条約によってアメリカ軍は日本に駐留し続けることになりました。さらに引き続きアメリカ政府は沖縄を統治し、その支配はむしろ強化されま

整理・まとめを進めるうえでは、より具体的に表現して、説得力を高めるように工夫します。  
・数字を比較するためには表やグラフにするとわかりやすいでしょう。  
・場所を示すために、地図などを活用しましょう。  
・写真や絵などを示すのも具体的な表現として説得力が高まります。



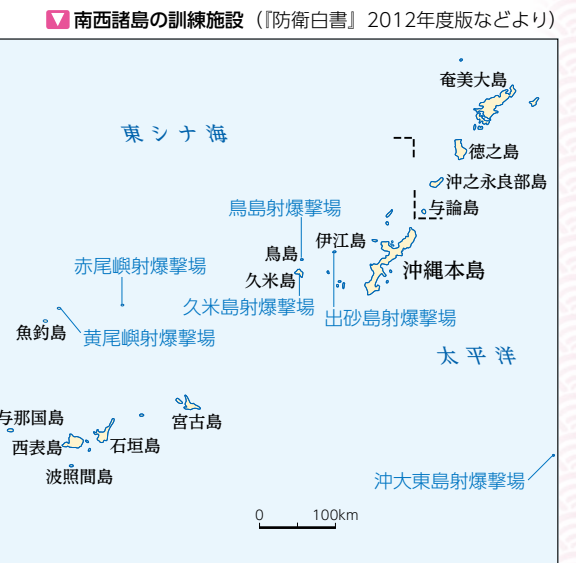
した。1960年代にベトナム戦争が勃発し、沖縄がアメリカ軍の前線基地としての役割をになうと、このうごきはますます強まりました。もちろん、この間沖縄の人びとによる反米基地闘争や祖国復帰運動も高まりました。

「沖縄が日本に復帰しない限り、戦後は終わらない」として、沖縄返還を公約に掲げた佐藤栄作首相は、1969(昭和44)年にニクソン大統領と会談し日米共同声明を発表し、これにもとづいて1972年に沖縄は日本に返還されました。しかし、このとき多くの住民が望んだ、返還と同時の米軍基地撤去は実現されることはありませんでした。アメリカにとって沖縄の米軍基地が冷戦下のアジア戦略上必要不可欠のものであることにかわりはなかったからです。

### ② 本論

本論では設定した課題について、調べた方法、手順などを、プレゼンテーションソフトなどで、順序立ててまとめていきましょう。

次に、フィールドワークなど、実際に取り組んだことでわかったことを整理して提示します。結論に向けて、自分がわかったことは、何を根拠にしているのか、聞いている人にわかってもらうにはどうしたらいいのか、工夫します。





# 歴代内閣総理大臣

出生地、出身など／首相就任時の年齢 在任期間 与党 説明

**8** おおきましのぶ  
**大隈重信①**  
肥前／60  
1898.6～98.11 ■憲政党  
1898.10 憲政党分裂  
1898.11 最初の政党内閣・隈板内閣  
おもなできごと

## 明治

**1** いとうひろふみ  
**伊藤博文①**  
長州／44  
1887.12 保安条例公布  
1888.4 市制・町村制公布 枢密院設置

**2** くろだきよたか  
**黒田清隆**  
薩摩／47  
1889.2 大日本帝国憲法発布  
衆議院議員選挙法公布  
超然主義演説

**3** やまがたありとも  
**山県有朋①**  
長州・陸軍中將／51  
1890.5 府県制・郡制公布  
1890.7 第1回衆議院議員総選挙  
10 教育勅語発布  
11 第1回帝国議会

**4** まつかたまさよし  
**松方正義①**  
薩摩／56  
1891.5 大津事件  
1892.2 選挙干渉

**5** **伊藤博文②**  
1892.8～96.8 元勲内閣  
1894.7 日英通商航海条約（領事裁判権の撤廃）  
8 日清戦争はじまる  
1895.4 下関条約 三国干渉

**6** **松方正義②**  
1896.9～98.1 松隈内閣  
1897.3 貨幣法公布（金本位制の確立）

**7** **伊藤博文③**  
1898.1～98.6

**8** おおきましのぶ  
**大隈重信①**  
肥前／60  
1898.6～98.11 ■憲政党  
1898.10 憲政党分裂

**9** **山県有朋②**  
1898.11～1900.10  
1900.3 治安警察法公布  
5 軍部大臣現役武官制制定  
6 北清事変

**10** **伊藤博文④**  
1900.10～01.05 ■立憲政友会  
1901.2 八幡製鉄所操業開始

## 桂園時代

**11** かつら たろう  
**桂太郎①**  
長州・陸軍大将／53  
1901.6～06.1  
1902.1 日英同盟協約  
1904.2 日露戦争はじまる  
1905.9 ポーツマス条約 日比谷焼き打ち事件  
11 第2次日韓協約

**12** さいおん じ きんもち  
**西園寺公望①**  
京都・公家／56  
1906.1～08.7 ■立憲政友会  
1906.3 鉄道国有法公布  
11 南満州鉄道株式会社設立  
1907.7 第3次日韓協約

**13** **桂太郎②**  
1908.7～11.8  
1908.10 戊申詔書発布  
1910.5 大逆事件  
8 韓国併合

## 大正

**14** **西園寺公望②**  
1911.8～12.12 ■立憲政友会  
1912.7 大正改元  
12 陸軍大臣が単独辞職→総辞職

**15** **桂太郎③**  
1912.12～13.2  
1912.12 第1次護憲運動  
1913.2 大正政変

**16** やまもとごんべい  
**山本権兵衛①**  
薩摩・海軍大将／60  
1913.2～14.4 ■立憲政友会  
1913.6 軍部大臣現役武官制改正  
1914.1 ジーメンス事件

**17** **大隈重信②**  
1914.4～16.10 ■立憲同志会  
1914.8 ドイツに宣戦布告（第一次世界大戦に参戦）  
1915.1 二十一条案の要求

**18** てらうちまさたけ  
**寺内正毅**  
長州・陸軍大将／64  
1916.10～18.9 超然内閣  
1917.1 西原借款  
9 金輸出禁止  
11 石井・ランシング協定  
1918.8 シベリア出兵はじまる 米騒動

**19** ほらたかし  
**原敬**  
岩手・衆議院議員／62  
1918.9～21.11 ■立憲政友会  
最初の本格的政党内閣  
1918.12 大学令公布  
1919.3 三・一独立運動  
5 五・四運動  
6 ヴェルサイユ条約  
1920.1 国際連盟加盟

**20** たかはし ことよし  
**高橋是清**  
東京／67  
1921.11～22.6 ■立憲政友会  
1921.12 四か国条約  
1922.2 ワシントン海軍軍縮条約 九か国条約

**21** かとうともきおつろ  
**加藤友三郎**  
広島・海軍大将／61  
1922.6 シベリアから撤兵声明

**22** **山本権兵衛②**  
1923.9～24.1  
1923.9 閣議中に関東大震災発生 亀戸事件・甘粕事件 虎ノ門事件

**23** きょうらけいご  
**清浦奎吉**  
熊本／73  
1924.1～24.6 最後の超然内閣  
1924.1 第2次護憲運動  
5 総選挙で護憲三派が圧勝

**24** かとうたかあき  
**加藤高明**  
愛知／64  
1924.6～26.1 護憲三派内閣  
■憲政会・立憲政友会・革新倶楽部  
1925.1 日ソ基本条約  
4 治安維持法公布  
5 普通選挙法公布

## 昭和

**25** わかづきれいじろう  
**若槻礼次郎①**  
島根／59  
1926.1～27.4 ■憲政会  
1926.12 昭和改元  
1927.3 金融恐慌

**26** たなか ぎいち  
**田中義一**  
山口・陸軍大将／63  
1927.4 モラトリアム実施  
5 第1次山東出兵  
1928.2 第1回普通選挙  
6 満州某重大事件 治安維持法改正

**27** はまぐち おさむ  
**浜口雄幸**  
高知・衆議院議員／59  
1929.7～31.4 ■立憲民政党  
1929.10 世界恐慌はじまる  
1930.1 金解禁実施（金本位制に復帰）→昭和恐慌  
4 ロンドン海軍軍縮条約 統帥権干犯問題

**28** **若槻礼次郎②**  
1931.4～31.12 ■立憲民政党  
1931.9 柳条湖事件（満州事変はじまる）  
10 十月事件

**29** いぬかいつよし  
**犬養毅**  
岡山・衆議院議員／76  
1931.12～32.5 ■立憲政友会  
1931.12 金輸出再禁止（管理通貨制へ移行）  
1932.2 血盟団事件  
3 満州国建国宣言  
5 五・一五事件で犬養首相暗殺

**30** さいとうたかよし  
**斎藤実**  
岩手・海軍大将／73  
1932.5～34.7 挙国一致内閣  
1932.9 日満議定書（満州国を承認）  
1933.3 国際連盟脱退通告

**31** おか だけいすけ  
**岡田啓介**  
福井・海軍大将／66  
1934.7～36.3  
1935.2 天皇機関説問題  
8 国体明徴声明  
1936.2 二・二六事件

**32** ひろたこうき  
**広田弘毅**  
福岡／58  
1936.3～37.2  
1936.5 軍部大臣現役武官制の復活  
11 日独防共協定

**33** はやしせんじろう  
**林銑十郎**  
石川・陸軍大将／60  
1937.2～37.6

**34** このえふみまる  
**近衛文麿①**  
東京・公家／45  
1937.6～39.1  
1937.7 盧溝橋事件（日中戦争はじまる）  
11 日独伊三国防共協定  
1938.4 国家総動員法公布

**35** ひらぬまき いちろう  
**平沼騏一郎**  
岡山／71  
1939.1～39.8  
1939.5 ノモンハン事件  
7 国民徴用令公布 日米通商航海条約破棄

**36** あべのおゆき  
**阿部信行**  
石川・陸軍大将／63  
1939.8～40.1  
1939.9 第二次世界大戦はじまる  
10 価格等統制令公布

**37** よないみつまさ  
**米内光政**  
岩手・海軍大将／59  
1940.1～40.7  
1940.6 新体制運動はじまる

**38,39** **近衛文麿②③**  
1940.7～41.10  
1940.9 北部仏印進駐 日独伊三国同盟  
10 大政翼賛会発足  
1941.4 日ソ中立条約 日米交渉はじまる  
7 南部仏印進駐

**40** どうじょうひでき  
**東条英機**  
東京・陸軍大将／57  
1941.10～44.7  
1941.12 英・米に宣戦布告（アジア太平洋戦争はじまる）  
1942.4 翼賛選挙  
6 ミッドウェー海戦  
1943.11 大東亜会議  
12 カイロ宣言 学徒出陣  
1944.7 サイパン島陥落

**41** こいそくにあき  
**小磯国昭**  
栃木・陸軍大将／64  
1944.7～45.4  
1945.2 ヤルタ協定  
3 東京大空襲  
4 米軍が沖縄本島上陸

**42** すずき かんたろう  
**鈴木貫太郎**  
大阪・海軍大将／77  
1945.4～45.8  
1945.5 ドイツが無条件降伏  
8 広島に原爆投下  
ソ連対日参戦  
長崎に原爆投下  
ポツダム宣言受諾  
終戦の玉音放送

## 憲政の常道（政党内閣の時代）